

令和3年度九州運輸局地域公共交通に関する第三者評価委員会

開催日：令和3年2月24日（木）

時間：9時30分～12時30分

場所：TKPガーデンシティ博多新幹線口3-B会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

(第一部)

(1) 事業評価の報告について ～ 各報告及び質疑 ～

- ・地域公共交通調査事業（計画策定）
日置市地域公共交通会議
- ・地域公共交通調査事業（計画策定（トライアル推進事業））
人吉・球磨地域公共交通活性化協議会
- ・地域公共交通利便増進事業（利便増進計画策定）
五島市地域公共交通活性化再生協議会
- ・離島航路運営費等補助事業
長崎県離島航路対策協議会

(2) 地域公共交通調査事業等に対するアドバイス、評価検討

(第二部)

(3) 事業評価の報告について ～ 各報告及び質疑 ～

- ・地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）
大分県地域間生活交通確保維持協議会
- ・地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）
延岡市地域公共交通活性化協議会
- ・離島航空路
鹿児島県奄美地域離島航空路線協議会
- ・新モビリティサービス推進事業
宮崎県におけるMaaS実行委員会

(4) 地域公共交通全体に対するアドバイス、評価検討、総評

4. 閉 会

令和3年度九州運輸局地域公共交通に関する第三者評価委員会

有 識 委 員 名 簿

区分	氏名	所属	役職等
有委 識員	辰 巳 浩	福岡大学	工学部 社会デザイン工学科 教授
有委 識員	梶 田 佳 孝	東海大学	工学部 土木工学科 教授
有委 識員	大 井 尚 司	大分大学	経済学部 経営システム学科 教授
有委 識員	行 平 真 也	九州産業大学	地域共創学部 地域づくり学科 講師

令和3年度九州運輸局地域公共交通に関する第三者評価委員会

出席者名簿

No.	区分	氏名	所 属	役 職	備 考
1	有識者委員	辰 巳 浩	福岡大学	工学部 社会デザイン工学科 教授	・WEB出席
2	有識者委員	梶 田 佳 孝	東海大学	工学部 土木工学科 教授	・WEB出席
3	有識者委員	大 井 尚 司	大分大学	経済学部 経営システム学科 教授	
4	有識者委員	行 平 真 也	九州産業大学	地域共創学部 地域づくり学科 講師	
1	運輸局	脇 野 正 博	九州運輸局	交通政策部長	
2	運輸局	田 上 英 昭	九州運輸局	自動車交通部長	・WEB出席
3	運輸局	金 平 成 市	九州運輸局	海事振興部長	代理出席 才田 勝 離島航路活性化 調整官
4	運輸局	小 原 勝	九州運輸局	鉄道部長	
5	運輸局	丹 下 涼	九州運輸局	交通政策部 交通企画課長	
6	航空局	橋本 三喜昭	大阪航空局	総務部長	・WEB出席
1	臨時委員 (交通計画計画策定)	野 崎 元 気	日置市地域公共交通会議	日置市 総務企画部 地域づくり課主査	・WEB出席
2	臨時委員 (トライアル推進)	白 坂 禎 敏	人吉・球磨地域公共交通活性化協議会	人吉市 企画政策部 地域コミュニティ課係長	・WEB出席
3	臨時委員 (利便増進計画策定)	豆 谷 孝 志	五島市地域公共交通活性化再生協議会	五島市 産業振興部 商工雇用政策課係長	・WEB出席
4	臨時委員 (離島航路)	前 田 祐 磨	長崎県離島航路対策協議会	長崎県 地域振興部 交通政策課主事	・WEB出席
	—	中 島 俊 明		九州郵船株式会社 業務課係長	・WEB出席 ・同席者
5	臨時委員 (地域間幹線)	石 川 貴 満	大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分県 企画振興部 交通政策課主事	・WEB出席
6	臨時委員 (地域内フィーダー)	三 浦 久 知	延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市 地域・離島・交通政策課主任主事	・WEB出席
7	臨時委員 (離島航空路)	大 迫 弘 樹	鹿児島県奄美地域離島航空路線協議会	鹿児島県 総合政策部 交通政策課航空対策係長	・WEB出席
8	臨時委員 (新モビリティ)	安森 溪太郎	宮崎県におけるMaas実行委員会	九州旅客鉄道株式会社 総合企画本部 経営企画部 モビリティサービス推進室	・WEB出席
1	運輸局	河津 隆幸	総務部	次長	
2	運輸支局	安 永 順 子	福岡運輸支局	首席運輸企画専門官 (企画調整担当)	・WEB出席
3	運輸支局	松 原 陽 介	佐賀運輸支局	首席運輸企画専門官 (企画調整担当)	・WEB出席
4	運輸支局	川 野 一 代	長崎運輸支局	首席運輸企画専門官 (企画調整担当)	・WEB出席
5	運輸支局	西 脇 考 志	熊本運輸支局	首席運輸企画専門官 (企画調整担当)	・WEB出席
6	運輸支局	吉 岡 順 一	大分運輸支局	首席運輸企画専門官 (企画調整担当)	・WEB出席
7	運輸支局	関 口 弘 二	宮崎運輸支局	首席運輸企画専門官 (企画調整担当)	・WEB出席
8	運輸支局	剣 持 宗 宏	鹿児島運輸支局	首席運輸企画専門官 (企画調整担当)	・WEB出席
9	運輸局	中 村 翔	九州運輸局 自動車交通部	旅客第一課主査	・WEB出席
10	運輸局	佐 藤 俊 介	九州運輸局 海事振興部	旅客課主査	
11	航空局	山岡 諭嗣	国土交通省 航空局 航空ネットワーク部	航空事業課地方航空活性化推進室専門官	・WEB出席

日置市地域公共交通会議

事業名：令和3年度地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)

調査事業の概要

日置市は、平成17年5月1日に旧東市来町、旧伊集院町、旧日吉町、旧吹上町の合併によって誕生した。

鹿児島県の西部に位置し、面積252.99km²で、西は県都鹿児島市、北はいちき串木野市と薩摩川内市、南は南さつま市に隣接し、西は東シナ海に面している。

地勢は東側が山地、西側が海岸平野で形成されている。



● 調査事業を行うエリア
日置市全域

● 調査事業の主な内容

- ・アンケート調査(市民、高校、観光客の移動実態、ニーズ把握)
- ・将来構想の提案
- ・先進事例調査

基礎データ

合併状況：平成17年5月に4町(東市来町、伊集院町、日吉町、吹上町)が合併
人口：47,452人(令和4年1月現在)
面積：253.01平方キロメートル
過疎地域等指定：過疎、辺地、半島
高齢化率：40.83%(令和4年1月現在)
補助対象の系統数：19系統(確保維持事業のみ)
自治体負担額：H31：1,902千円、R2：1,635千円(確保維持事業のみ)
協議会開催数：協議会6回

調査前の地域交通状況(Before)

日置市の公共交通は鉄道、高速バス、空港バス、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーで構成されています。現在まで、路線バスの減便や廃止を繰り返し、空港バスについても令和2年6月には空港バス1路線が廃止となり、市民に不便を強いる状況となっていた。

地域公共交通網形成計画を策定後、現状を把握するための調査は実施しておらず、事業実施も頭打ちの状況となっていた。本調査を活用した市民アンケートを実施することにより、課題として①公共交通の運行本数の少なさや待ち時間の長さ、②公共交通に関する情報がわかりにくいなどが見えてきた。

この市民アンケートの意見を踏まえた事業実施が必要となっている。

課題1 少子高齢化に伴う公共交通網の維持・確保が必要

- ・本市の人口推計では2065年には26,257人(2020年の半分)まで減少する見込みとなっています。
- ・本市の免許返納者数は200人/年を超過、今後も同様に推移していくことが予測されるため、公共交通の需要は高まる。

課題2 ニーズに合った交通体系の構築が必要

- ・公共交通を利用するにあたって、通院、買い物等の用事と時間が合わない。市民アンケートより、外出機会の9割が通院と買い物である。
- ・通勤や通学、通院や買い物など利用したい時間帯の便が少ない。
- ・観光客の約8割が自家用車で移動している。

課題3 公共交通に対して市民や関係団体と協力した取組が必要

- ・交通事業者は慢性的な運転士不足であり、コロナ禍でさらに事業継続が困難な状況にある。
- ・本市の高齢化率が高い地域ではバス路線がない地域もある。
- ・バス停までの距離が遠く、利用したくても出来ない市民がいる。
- ・日置市の財政負担、バス事業者の減収が大きい。このままでは路線バスを含めたすべての運行継続できなくなってしまう。
- ・交通事業者全体として業務員が不足している。

課題4 分かりやすい情報啓発が必要

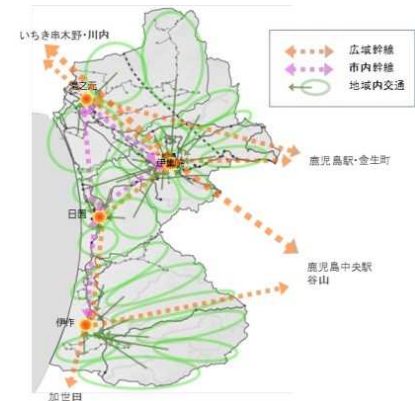
- ・市民アンケートで時刻表がわかりにくい、ネット検索が出来ないなど情報の取得に不便を感じている意見が多い。
- ・老年人口(65歳以上)が今後さらに増加していく見込みのため、情報の分かりやすさが利用につながる。

調査後の地域交通計画(After)

基本的な方針

- ① 市民が安心して暮らせる交通体系の構築
- ② 誰もが乗りたくなる魅力ある交通まちづくり
- ③ 関係主体の連携による交通環境づくり

※実施主体等の取り組み方法は別紙参照



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

協議会名：日置市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域公共交通調査等事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画等の計画策定等に向けた方針
1. アンケート調査 回答率47.4% (市民2,500人、高校4校、観光客30名) 2. 将来構想の提案 ・アンケート調査結果、本市の地理的、人口データを踏まえた将来構想の提案を受けた。 3. 先進事例調査 ・他自治体の先進事例を調査し、本市に合った事例の報告を受けた。	A	計画通り実施され、公共交通計画策定に必要な情報の報告を受けた。	調査結果を受け、計画策定の方針を次のとおり定める。 <<形成方針>> 「誰もが利用しやすく 地域全体で作り上げる持続可能な交通環境のまち」 <<基本方針>> ① 市民が安心して暮らせる交通体系の構築 ② 誰もが乗りたくなる魅力ある交通まちづくり ③ 関係主体の連携による交通環境づくり

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

協議会名:	日置市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、地域公共交通調査等事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>日置市は鹿児島県西部に位置し、面積253.01km²で人口48,238人、県都鹿児島市に隣接する街である。本市は年々人口減少・高齢化が進展しており、民間バス路線の減便・廃止が続くなど、地域公共交通の存続が難しい状況にある。しかし、地域住民の生活をより良いものにするためには、公共交通システムの構築が必要不可欠である。その一環として、中でも、高齢者、免許自主返納者の移動手段の確保を目的とし、域内の主要集落から、総合病院、スーパー、駅への移動手段確保を目標に掲げ、地域間幹線と接続するフィーダー系統(デマンド型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

地域公共交通調査事業 評価報告



島津 義弘
(ひおきPR武将隊)

日置市地域公共交通会議



ひお吉くん
(日置市イメージキャラクター)

1 事業活用の経緯

本市は平成28年度に「日置市地域公共交通網形成計画」を策定し、平成29年度から令和3年度までの計画を策定。

網計画で掲げた事業や将来像、基本方針に基づく評価指標の達成状況を受け、民間事業者等で構成される「日置市地域公共交通会議」で協議し、今後の公共交通のマスタープラン「日置市地域公共交通計画」を策定することとした。

公共交通は大事。
じゃあ、どうやって
確保していくの
か・・・



ひお吉くん

(日置市イメージキャラクター)

日置市地域公共交通会議

事業名：令和3年度地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業）

調査事業の概要

日置市は、平成17年5月1日に東市来町、伊集院町、日吉町、吹上町の合併によって誕生した。

鹿児島県の西部に位置し、面積253.01km²で、東は県都鹿児島市、北はいちき串木野市と薩摩川内市、南は南さつま市に隣接し、西は東シナ海に面している。

地勢は東側が山地、西側が海岸平野で形成されている。



●調査事業を行うエリア
日置市全域

- 調査事業の主な内容
- ・アンケート調査（市民、高校、観光客の移動実態、ニーズ把握）
 - ・将来構想の提案
 - ・先進事例調査

基礎データ

合併状況：平成17年5月に4町（東市来町、伊集院町、日吉町、吹上町）が合併

人口：47,452人（令和4年1月現在）

面積：253.01平方キロメートル

過疎地域等指定：過疎、辺地、半島

高齢化率：40.83%（令和4年1月現在）

補助対象の系統数：19系統（確保維持事業のみ）

自治体負担額：H31：1,902千円、R2：1,635千円（確保維持事業のみ）

協議会開催数：協議会6回

調査前の地域交通状況（Before）

日置市の公共交通は鉄道、高速バス、空港バス、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーで構成されており、現在まで、路線バスの減便や廃止を繰り返して、空港バスについても令和2年6月には空港バス1路線が廃止となり、市民に不便を強いる状況となっていた。

地域公共交通網形成計画を策定後、現状を把握するための調査は実施しておらず、事業実施も頭打ちの状況となっていた。本調査を活用した市民アンケートを実施することにより、課題として①公共交通の運行本数の少なさや待ち時間の長さ、②公共交通に関する情報がわかりにくいなどが見えてきた。

この市民アンケートの意見を踏まえた事業実施が必要となっている。

課題1 少子高齢化に伴う公共交通網の維持・確保が必要

- ・本市の人口推計では2065年には26,257人（2020年の半分）まで減少する見込みとなっています。
- ・本市の免許返納者数は200人/年を超え、今後も同様に推移していくことが予測されるため、公共交通の需要は高まる。

課題2 ニーズに合った交通体系の構築が必要

- ・公共交通を利用するにあたって、通院、買い物等の用事と時間が合わない。市民アンケートより、外出機会の9割が通院と買い物である。
- ・通勤や通学、通院や買い物など利用したい時間帯の便が少ない。
- ・観光客の約8割が自家用車で移動している。

課題3 公共交通に対して市民や関係団体と協力的な取組が必要

- ・交通事業者は慢性的な運転士不足であり、コロナ禍でさらに事業継続が困難な状況にある。
- ・本市の高齢化率が高い地域ではバス路線がない地域もある。
- ・バス乗までの距離が遠く、利用しなくても出来ない市民がいる。
- ・日置市の財政負担、バス事業者の減収が大きい。このままでは路線バスを含めたすべてが運行継続できなくなってしまう。
- ・交通事業者全体として乗務員が不足している。

課題4 分かりやすい情報啓発が必要

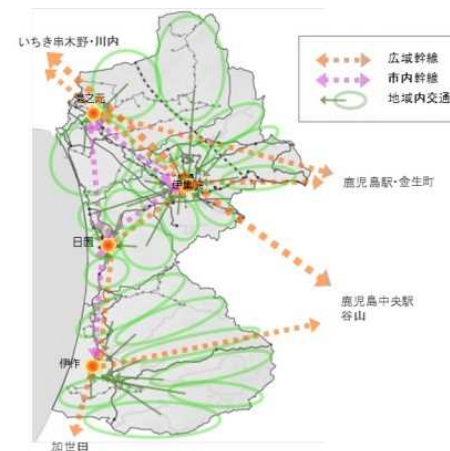
- ・市民アンケートで時刻表がわかりにくい、ネット検索が出来ないなど情報の取得に不便を感じている意見が多い。
- ・老年人口（65歳以上）が今後さらに増加していく見込みのため、情報の分かりやすさが利用につながる。

調査後の地域交通計画（After）

基本的な方針

- ① 市民が安心して暮らせる交通体系の構築
- ② 誰もが乗りたくなる魅力ある交通まちづくり
- ③ 関係主体の連携による交通環境づくり

※実施主体等の取り組み方法は別紙参照



鹿児島県日置市の概要

日置市は、平成17年5月1日に旧東市来町、旧伊集院町、旧日吉町、旧吹上町の合併によって誕生。

人口：47,452人（令和4年1月現在）

面積：253.01km²

過疎地域等指定：過疎、辺地、半島

高齢化率：35.34%（令和4年1月現在）



島津 忠良
ひおきPR武将隊

調査事業の概要

本市は従前計画の際に協力いただいた「(株)九州経済研究所」に今回の計画策定も協力いただくこととした。

主な実施内容

① アンケート調査(設計、実施、集計、分析)

【調査対象】

a.日置市民2,500人 b.市内観光施設の来訪者 c.市内高校4校

② 将来構想の提案

③ 先進事例調査(報告含む)

アンケート調査の結果

市民向けアンケート 2,500人に実施 回答率 47.4%(1,184人)

日置市内観光施設の来訪者向けアンケート(Web) 回答者数 30名

市内高校4校 教頭先生及び担当教員へ実施

市民向けアンケートの主な内容

外出目的、移動手段、満足度、不満足度、公共交通に対する自由意見

来訪者向けアンケートの主な内容

来訪場所、宿泊or日帰り、移動手段、公共交通に対する自由意見

市内高校向けアンケートの主な内容

生徒数、通学手段、スクールバスの有無、公共交通に対する自由意見

アンケート調査の結果を受けて、見えてきた課題

高齢者が増えれば需要は増す

課題1 少子高齢化に伴う公共交通網の維持・確保が必要

通院、買物で利用する人が9割

課題2 ニーズに合った交通体系の構築が必要

使いたい時間帯の便が少ない

課題3 公共交通に対して市民や関係団体と協力した取組が必要。

財政は苦しい。自助、共助、公助、互助のバランスが重要

課題4 分かりやすい情報啓発が必要

利用方法がわからない人が潜在している

日置市では意見の抽出、整理に注力

Before

交通会議事務局(日置市)が資料作成や提案をする形で進行していたが・・・

丁寧に整理や意見抽出をするために取り入れたのは・・・

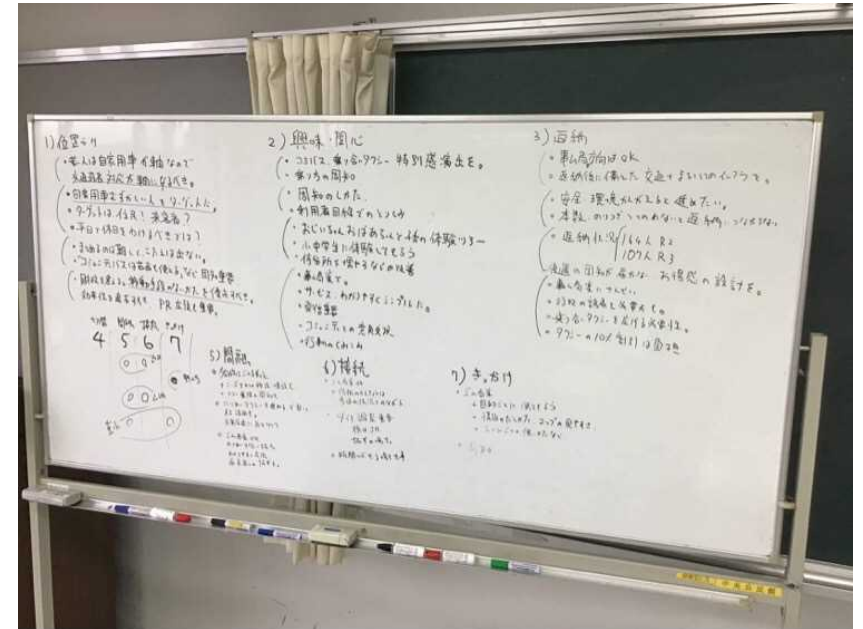
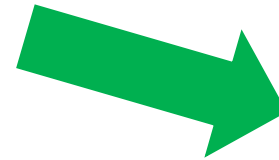
グループワーク!!!



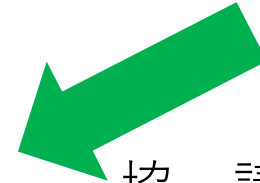
協議



抽出



協議






市民アンケートや交通会議の意見を基に日置市の方針設定

公共交通の形成方針

誰もが利用しやすく
地域全体で作り上げる持続可能な交通環境のまち
～SDGsとゼロカーボンシティの推進～

計画の基本的な方針

-  ① 市民が安心して暮らせる交通体系の構築
本市内地域ごとの超高齢化社会を考慮した地域内交通の充実を図り、免許返納者や交通手段を持たない人も安心して暮らせるよう、移動ニーズに沿った交通体系を構築します。
-  ② 誰もが乗りたくなる魅力ある交通まちづくり
観光や市内外へ通勤・通学、買い物など、多様なニーズに対応できる交通体系の構築を目指します。限りある交通資源を磨き上げ公共交通利用の活性化を図ることによる、SDGsとゼロカーボンシティの実現を目指して、公共交通は「誰でも利用できるもの」「乗りたい」という意識づけが広がるよう、交通まちづくりを促進します。
-  ③ 関係主体の連携による交通環境づくり
市民、交通事業者、行政、企業、関係団体等が協働・連携することで、持続可能な交通環境をつくり、公共交通を未来へ繋ぐ意識の醸成を図ります。

(株)九州経済研究所の調査した先進事例(一部)

☆帯広市地域公共交通活性化協議会／北海道帯広市

帯広市は交通環境教育及び農村部での乗合タクシー・バスの運行、バス事業者は市民だけではなく来訪者にもわかりやすい情報提供として、[Googleマップ等での路線情報発信](#)やバスロケーションシステムの普及推進、バス待合所におけるデジタルサイネージによる運行情報提供などを実施し、市とバス事業者が連携してモビリティマネジメントを展開。

バス利便性向上のため、キャッシュレス決済（QRコード決済、WAONカード、PayPay）システムを導入。

帯広市を含む十勝圏二次交通活性化推進協議会では、観光地・買い物と路線バス、タクシーの組み合わせ(本来であれば利益相反する関係)で、観光施設、乗車券の割引を設定。

☆竹田市地域公共交通確保維持協議会／大分市竹田市、熊本県阿蘇市

駅からの二次交通の整備に関する事業を推進。[グリーンスローモビリティ「籠モビ」](#)の実証運行、週末くじゅうおでかけバス（観光エリアで周遊バス運行）。

先進事例調査結果を事業に反映

基本方針	② 誰もが乗りたくなる魅力ある交通まちづくり ③ 関係主体の連携による交通環境づくり
事業4	乗換検索できる環境の構築
事業内容	幅広い世代でパソコン、スマートフォンが普及しており、バス路線の時刻表や乗換検索も可能になっている。このことから、「Google」への情報掲載を進めます。
実施主体	日置市、交通事業者

基本方針	② 誰もが乗りたくなる魅力ある交通まちづくり ③ 関係主体の連携による交通環境づくり
事業7	各種団体の活動における公共交通利用の促進
事業内容	日置市における、地区公民館活動、自治会活動、小・中・高校生の校外学習等に公共交通機関を利用してもらえよう周知を図ります。また、各種イベントと公共交通を組み合わせた情報提供を実施します。
実施主体	日置市、交通事業者、関係団体



島津 義久
ひおきPR武将隊

基本方針	① 市民が安心して暮らせる交通体系の構築 ③ 関係主体の連携による交通環境づくり
事業11	新たな移動手段の導入検討
事業内容	本市の輸送資源に加え、自由度の高い新たな移動手段を導入するための実証実験や移動手段を検討します。
実施主体	日置市、交通事業者、市民団体



島津 貴久
ひおきPR武将隊

地域公共交通調査事業の評価

評価点

本事業を活用し、現状と市民の意見を丁寧に積み上げて協議することで、日置市の課題や方向性が明確化。

さらに、本市交通会議の委員の本気度が変化し、実効性の高い計画となった。



島津 豊久
ひおきPR武将隊



調査事業の概要

1. 調査事業を行うエリア

人吉球磨10市町村(人吉市、湯前町、錦町、多良木町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町)の区域

2. 調査事業の主な内容

地域の持続可能な輸送サービスの提供を将来的に確保するため、交通施策のマスタープランとして「人吉・球磨地域公共交通計画」を策定する。その策定に伴う各種調査・検討を以下のとおり行った。

(1) 既存資料等の収集・整理

- ◆交通体系調査(道路状況、公共交通路線状況)
- ◆各交通機関・路線の利用状況調査(既存ODデータ整理)
- ◆各交通機関・路線の財政負担及び費用対効果の調査
- ◆人口概要調査(人口、世帯数、人口動態、通勤・通学者の流動状況等)
- ◆住民の移動意向等調査(復興計画策定時アンケート、高等学校通学意向調査等の結果整理・分析)
- ◆関係自治体上位関連計画等の整理

(2) 現状把握のための調査

- ◆地域住民やバス利用者の意向及び移動特性を把握する調査を実施
- ◆幹線路線バス(コミバス)利用者ヒアリング調査
- ◆関係者(自治体、交通事業者等)ヒアリング調査

(3) 評価の実施

現行計画の目標達成状況、事業効果等を調査し、評価・検証を行う

(4) 人吉・球磨地域公共交通計画のとりまとめ

- ◆地域公共交通の課題整理(系統別カルテの作成、将来動向の分析、地域公共交通の問題点・課題の整理)
- ◆基本方針の検討(問題点・課題への対応方針を検討)
- ◆計画の目標設定
- ◆目標達成の施策の検討(計画推進事業等)
- ◆計画の達成状況評価方法の検討

基礎データ

合併状況：平成13年9月にあさぎり町(5町村)が合併
 人口：79,886人(令和3年12月現在)
 面積：1,536.56平方キロメートル
 過疎地域等指定：過疎(人吉市及び錦町以外の町村)
 高齢化率：約38%
 協議会開催数：協議会6回、分科会4回



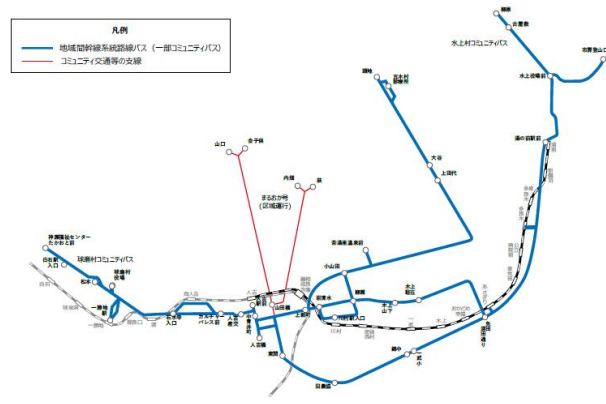
【区域】

調査前の地域交通状況(Before)

1. 地域公共交通の状況

少子高齢化社会の到来や人口減少が著しい中、また交通弱者(高齢者)の移動は車送迎が主であり、地域の幹線である「くま川鉄道」、「JR九州肥薩線」、「幹線路線バス」の利用者が年々減少している。路線バスにおいては系統の短縮、廃止や減便が進んでいる。

こういった中、令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大による影響や令和2年7月豪雨により鉄道路線が甚大な被害を受け、公共交通を取り巻く環境や地域公共交通網が大きく変化している。

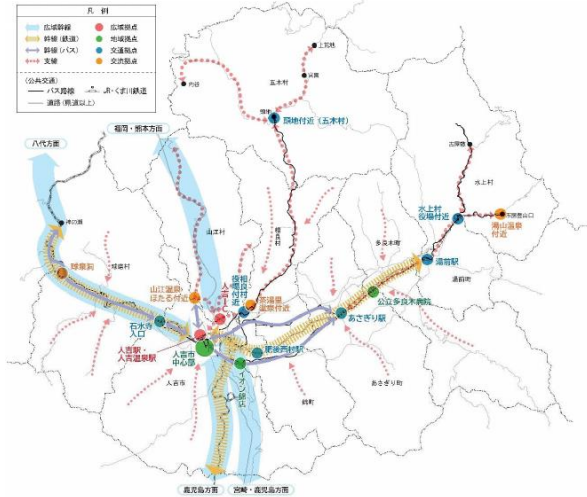


2. 課題

- ◆多様な交通モードの連携・活用による地域公共交通体系の再構築
- ◆地域公共交通に関する情報発信の強化
- ◆地域公共交通利用促進に向けた機運の醸成

調査後の地域交通計画(After)

- 目標①：地域公共交通の再構築と利便性向上
- 目標②：地域公共交通に関するサービス充実
- 目標③：他分野連携による利用機運の醸成



【主な施策内容】

- ◆各市町村における地域公共交通計画の検討
- ◆被災鉄道路線の復旧・復興
- ◆コミュニティ交通の充実
- ◆交通拠点の機能強化
- ◆新たな運賃制度や決済方法の導入
- ◆地域公共交通に関する情報提供サービスの充実
- ◆地域公共交通に関する福祉・教育分野との連携
- ◆地域公共交通に関するイベント等の開催

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

協議会名:人吉・球磨地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)

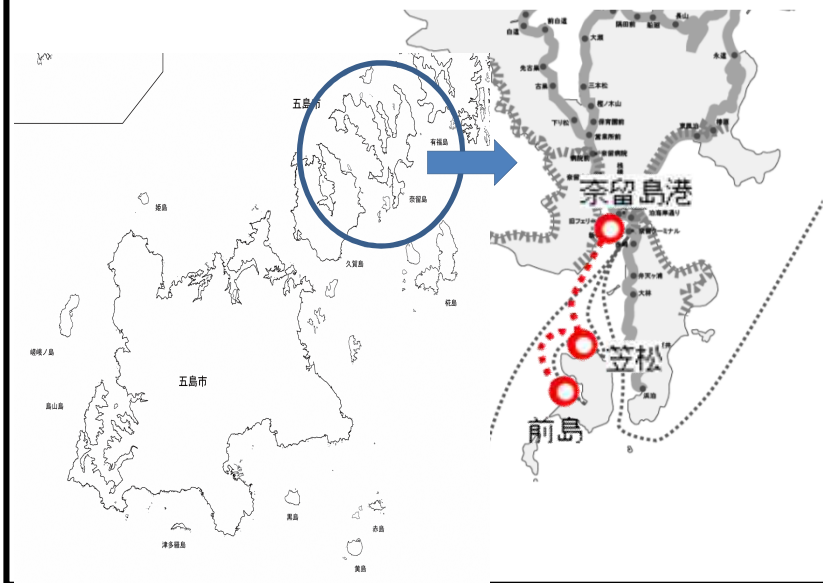
①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存資料等の収集・整理 ・現状把握のための調査 ・評価の実施 ・人吉・球磨地域公共交通計画のとりまとめ ・協議会の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状、交通関係の現状を整理、関係自治体の上位計画・関連計画を整理した。 ・バス利用者、施設管理者などのヒアリング調査を実施し、地域住民、利用者の移動需要や意向を把握することができた。 ・調査結果をもとに課題を整理し、地域の持続可能な輸送サービスの提供を将来的に確保するための計画(素案)を作成する。 ・今後、協議会を開催し、素案について関係者との協議を経て、最終的に人吉・球磨地域公共交通計画を策定する。 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)</p> <p>【事業内容】 地域公共交通計画策定に係る各種データ収集、分析、課題整理等</p> <p>【実施時期】 令和3年度末策定予定</p> <p>【計画策定方針】 人吉球磨地域10市町村における課題等を整理した上で、計画の目標を①持続可能な公共交通ネットワークの形成、②拠点の創出及び交通結節機能の強化、③公共交通利用環境の向上、④地域公共交通に関する新たな仕組みづくりとし、持続可能な輸送サービスの提供を将来的に確保することを目指す。 なお、本計画は地域の幹線としての交通体系を主にした計画であるため、支線の詳細については、各市町村が策定する交通計画等により検討を行うこととしている。</p>

五島市地域公共交通活性化再生協議会

事業名: 令和3年度地域公共交通調査事業(利便増進計画策定事業)

調査事業の概要

令和4年4月からの「五島市地域公共交通計画」のアクションプランとして、市営交通船奈留前島航路に係る「五島市地域公共交通利便増進実施計画」を策定する。



基礎データ

五島市は、平成16年8月1日、下五島1市5町(福江市、南松浦郡富江町、同郡玉之浦町、同郡三井楽町、同郡岐宿町、同郡奈留町)が合併(新設合併)し、誕生した。

五島市は、九州の最西端、長崎市の西方海上約100kmに位置している。大小152の島々からなる五島列島の南西部にあり、11の有人島と52の無人島からなっている。

奈留地区は、五島列島の中央に位置し、漁業によって栄えた島である。人口(令和4年1月末)2,008人、うち前島地区の人口は25名である。

市営交通船に係る補助額 国4,302千円、県7,323千円

五島市営交通船奈留-前島航路概要

- ・五島市の2次離島である奈留島と、さらにそこから4.4km離れた前島間を運航する市営交通船
- ・民間の船を用船してのデマンド運航(H28年度~1便目、2便目は定期運航、3便目は予約制)
- ・補助航路として、運賃収入以外では、国県からの補助と市費によって運営されている。

調査前の地域交通状況(Before)

H27年度 利用者数 4,212人 利用者目標値3,334人(前計画策定時)

運航経費	20,432千円
経費合計	20,432千円
運賃収入	756千円
五島市	19,676千円 【国9,838千円】 【県4,919千円】
収入合計	20,432千円

R2年度 利用者数 4,241人

運航経費	19,936千円
経費合計	19,936千円
運賃収入	913千円
五島市 【うち補助金の額】	19,023千円 【国4,302千円】 【県7,323千円】
収入合計	19,936千円

デマンド運航に切り替えることにより、運航に係る経費は削減することができているが、運賃収入が増えておらず、補助航路の収入に頼っており、料金改正を含めた経営基盤強化が必要であることが分かった。

調査後の地域公共交通利便増進実施計画(After)

- ①分かりやすい運賃体系、②航路が将来的に持続可能となる運賃体系、③島民だけでなく全利用者を勘案した運賃体系、を柱として運賃を改正する。
奈留-笠松180円、笠松-前島140円、前島-奈留200円⇒統一料金一律220円
往復割引 奈留-笠松360円を新規設定

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和4年1月27日

協議会名:五島市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(地域公共交通利便増進計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <p>1 奈留地区現状調査</p> <p>2 計画素案のとりまとめ</p> <p>【結果概要】</p> <p>調査会社へ委託し、前島地区住民への聞き取りや各種データを分析することで、持続可能な市営交通船とするための課題が浮きぼりとなった。</p>	A	計画どおり事業は適切に実施された	<p><補助対象事業名></p> <p>地域公共交通調査事業(地域公共交通利便増進実施計画策定事業)</p> <p><事業内容></p> <p>五島市利便増進計画策定業務</p> <p><実施時期></p> <p>令和4年4月～令和9年9月</p> <p><計画策定の方針></p> <p>料金改定も含めた収支改善を行い持続可能な航路にするとともに、島外からの利用者にとっても利便性が高い航路となることを目指す</p>

長崎県離島航路対策協議会

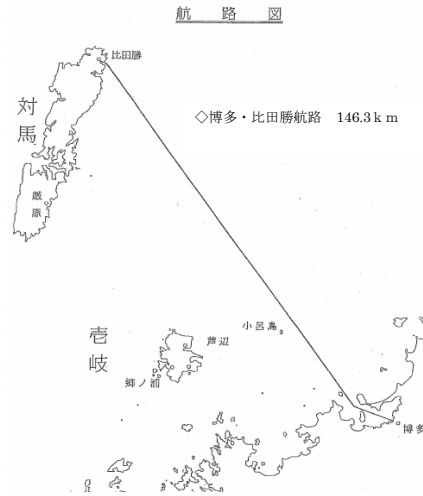
(別添2)

事業者名 九州郵船株式会社

概要

上対馬と九州本土を結ぶ唯一の交通機関であり、島民の本土への移動や、必要な生活物資の輸送で、島民の生活に不可欠な航路であるが、少子高齢化に伴い、利用者も減少する中、事業者が単独で航路を維持することは困難な状況にある。

- ・航路名
博多～比田勝航路
- ・運航回数及び寄港地
博多～比田勝 1日1往復
- ・使用船舶
フェリーげんかい(～令和3年6月末迄運航)
新造船うみてらし(令和3年7月1日より就航)



【主要目】	うみてらし
全長	81.79m
総トン数	1,125トン
航海速力	17ノット
旅客定員	176名
積載台数	約43台
進水年月	令和3年2月



基礎データ

航路概況等

人口: 28,964人(令和3年9月末現在)

面積: 708.66平方キロ

主要産業: 水産業、農林業、建設業

補助金	国	県
令和元年度	96,902,850	47,373,057
令和2年度	92,265,902	77,215,128
令和3年度	未確定	未確定

協議会開催数 協議会 1回

計画、目標(Plan)

旅客については、バス会社、旅行業者への集客誘致、車両については島内外のトラック業者への営業活動により、令和3年度は、旅客11,082.5人、車両3,287台を目標とした。

ネットワーク計画等の取組み(Do)

旅客: バス会社、旅行業者への集客誘致(特にツアーの造成等、団体客送客依頼)
車両: 島内外のトラック業者への営業活動

実施状況、目標の達成(Check)

旅客: 見込11,082.5人に対して-4,988.5人の6,094.0人
車両 見込3,287台に対して-656台の2,631台

旅客、車両が減少した理由

・コロナ渦による緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置発令に伴う人流の停滞が大きく起因している。

今後の課題、対応(Action)

今後も引き続きバス会社、旅行業者、トラック業者への集客誘致を行う。うみてらし就航により、船内の快適性は格段に向上し、また船舶の速力がアップしたことで、航海時間も一時間近く短縮され、荒天による欠航も大幅に減少した事により利便性が高くなった。新造船が就航したことによるメリットを更に訴求し、計画通り実施していく。

地域公共交通確保維持改善事業・自己評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)
自己評価対象期間(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

令和3年12月23日

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	②事業実施の適切性	③目標・効果達成状況	④事業の今後の改善点
記載要領	【事業者名を記載】 ※評価は離島航路別に実施すること	【運航区間、整備内容等を記載】	【当該事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したのかを記載】	【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】 A・B・C 評価 記載例①: 計画どおり事業は適切に実施された。 記載例②: 災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。	【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】 A・B・C 評価 記載例①(確保維持事業): 目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載) 記載例②(改善事業): 年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】 ※ なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載
離島航路に係る地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)	九州郵船株式会社	博多～比田勝航路	コロナ渦の中、常に対馬島内の情報収集を行い、少しでも旅客・車両の利用増となる様努めた。	A 機関故障等、荒天を除く欠航は発生しなかった。うみでらしの就航に伴い、就航率は格段に向上した。	B 年間半分以上の期間が、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令に見舞われたことも影響し、計画に対して旅客は-4,988.5人、車両は-656台となった。	年々島内人口が減少していく中で、大きな需要増は見込めないが、新造船うみでらしの快適性や利便性を更に訴求し、航路利用の動機づけにつなげて行く。

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。

**地域公共交通確保維持改善事業・自己評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)
自己評価対象期間(令和2年10月1日～令和3年9月30日)**

令和3年12月23日

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	②事業実施の適切性	③目標・効果達成状況	④事業の今後の改善点
記載要領	【事業者名を記載】 ※評価は離島航路別に実施すること	【運航区間、整備内容等を記載】	【当該事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したのかを記載】	<p>【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】</p> <p>A・B・C評価</p> <p>記載例①: 計画どおり事業は適切に実施された。</p> <p>記載例②: 災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。</p>	<p>【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】</p> <p>A・B・C評価</p> <p>記載例①(確保維持事業): 目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載)</p> <p>記載例②(改善事業): 年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】</p> <p>※ なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載</p>
離島航路に係る地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業(代替建造))	九州郵船株式会社	博多～比田勝航路に就航する船舶の代替建造	—	A 計画通り事業は適切に実施された	A 従来船フェリーげんかいの代替船として、令和3年7月1日よりうみてらしが就航した。	うみてらし就航により、船内バリアフリー化、航海時間短縮や就航率が向上した等、快適性・利便性が大きく飛躍した。引き続き事業を計画通り実施して行く。

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。

概要

令和3年度補助対象路線

大分バス（株）	①	臼杵線
	②	伯大線（急行）
	③	上浦線
	④	佐賀関線
	⑤	伯大線 （コスモタウン）
	⑥	鶴見線
	⑦	米水津線
	⑧	青山經由蒲線
	⑨	直川線
	⑩	畑野浦經由蒲江線
大分交通（株）	⑪	国大線
大交北部バス （株）	⑫	中日線
	⑬	中安線
	⑭	国道中高線
	⑮	伊美線

【補助対象となる系統及びその運行事業者】
令和3年度の補助対象系統及び運行事業者は左表のとおり（3社15系統）。
系統図については別紙参照。

【大分県内の乗合バス事業の現状】

本県内の乗合バス事業は、令和2年3月末現在9事業者により運行されている。県内の令和元年度の輸送人員は18,675千人で、昭和40年代初頭と比べた場合、約2割ほどにまで減少しており、長期的なバス利用者の減少に歯止めがかからない状況が続いている。

平成16年度には27系統が国庫補助対象であったが、利用者の減少により輸送量基準を満たすことができなくなったことにより補助対象から外れる系統ができたことから、平成27年度に市町村及び各交通事業者等で構成される大分県地域公共交通活性化協議会を設置し、県内を6圏域に分け順次、地域公共交通計画・地域公共交通利便増進実施計画の策定に取り組むこととした。

その結果、これまでに北部圏・豊肥圏・南部圏・中部圏・東部圏において地域公共交通計画と地域公共交通利便増進実施計画、西部圏において地域公共交通計画を策定したところである。

令和3年度以降は、西部圏の地域公共交通利便増進実施計画の策定作業を進めるとともに、中部圏において、既に策定済の網形成計画及び再編実施実施計画の更新作業を実施することにより、利用者増や運行効率の改善を図る等、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指したいと考えている。

基礎データ

- ・ 合併状況：平成13年3月31日時点の58市町村から現在は18市町村
- ・ 人口：112万4,983人（令和2年10月1日現在）
- ・ 面積：6,340.70km²（令和3年4月1日現在）
- ・ 過疎地域等指定：過疎、離島、半島、山村等
- ・ 高齢化率：33.3%（令和2年10月1日現在）
- ・ 補助対象の系統数：H29年度～20系統、H30～19系統、R元年度～25系統、R2年度～20系統（確保維持事業のみ）
- ・ 大分県負担額：H29年度～136,421千円、H30年度～143,965千円、R元年度～127,247千円、R2年度～104,384千円（確保維持事業のみ）
- ・ 令和3～5年度計画に関する協議会開催数：協議会7回、幹事会1回

計画、目標(Plan)

【乗合バス系統を確保する必要性】

高齢者や体が不自由な方などのマイカーを自由に利用することができない移動制約者が、買い物や通院などの日常生活を営むためには、地域の代表的な公共交通である乗合バス路線網をしっかりと確保・維持していくことが必要不可欠である。

【補助対象となる系統の考え方】

平成の大合併前の旧58市町村間をまたいで運行する系統のうち、国の補助事業の基準（再編特例措置に該当する系統については、要件緩和後の基準）に該当する15系統を事業の対象とした。

【目標設定の考え方】

長期的なバス利用者の減少傾向が続いていることに加え、沿線市町村の人口が継続的に減少していることから、運行費補助については、輸送人員と運送収入を令和元年度の実績値に人口減少率を加味したもの、また、車両購入減価償却費補助については、車両を購入した系統の輸送量を令和元年度の実績値に人口減少率を加味したものを目標値とした。

【地域住民の意見の反映結果】

生活交通確保維持改善計画の策定にあたっては、計画案を大分県庁のホームページ上に掲載したほか、県庁舎内や地方機関での閲覧に付し、県民からの意見募集（パブリックコメント）を約1ヶ月間実施した。計画に反映すべき意見は寄せられなかったが、質問等に対する回答をホームページ上で公開した。

生活交通確保維持改善計画等の取組み(Do)

【事業の取組】

各乗合バス事業者とも、生活交通確保維持改善計画に記載したとおり運行するよう努めた。

実施状況、目標の達成(Check)

【事業の実施状況】

各系統とも、台風等の影響による運休（要綱に定めるやむを得ない事情による運休）はあったが、事業は適切に実施された。

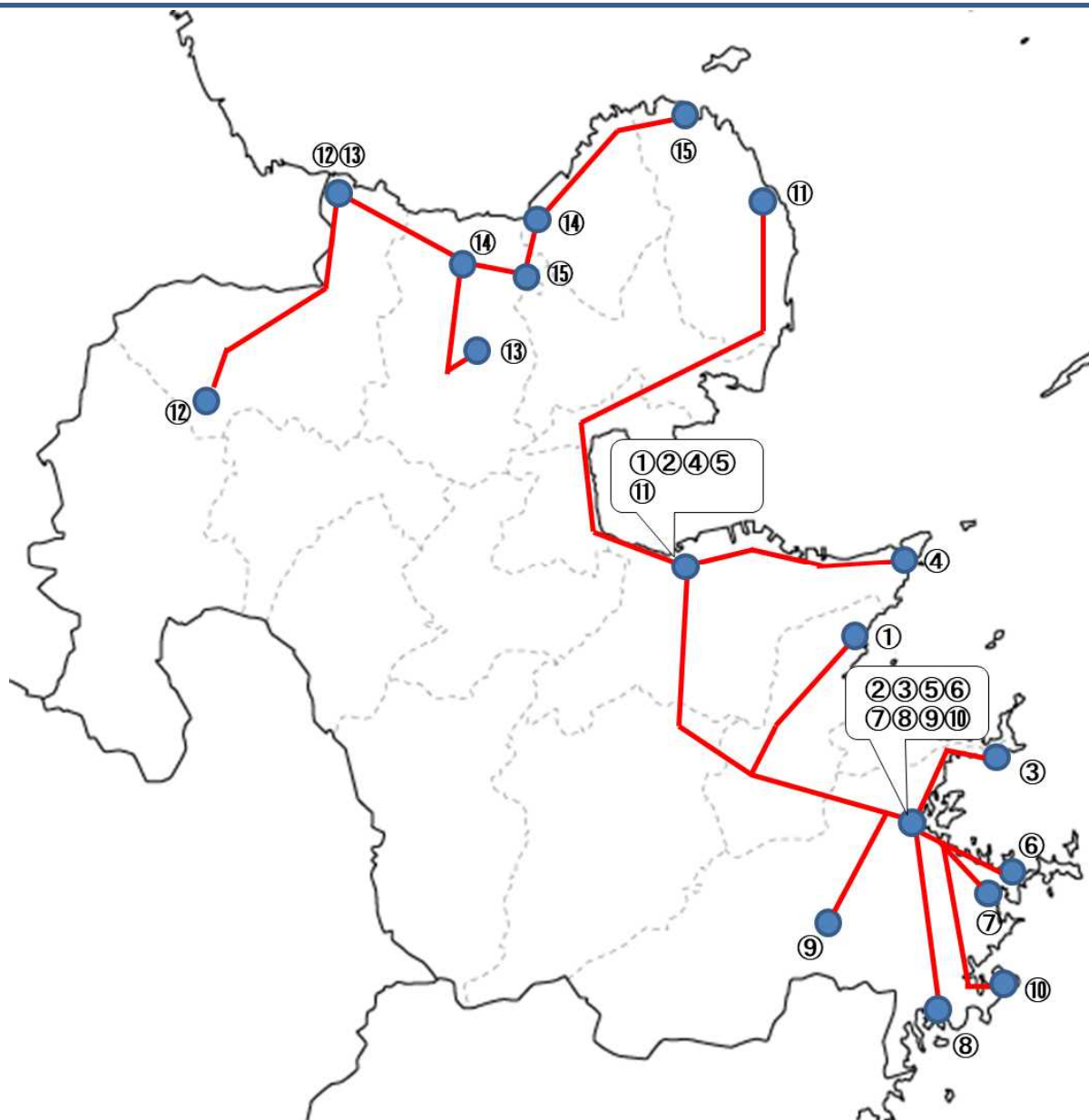
【目標の達成状況】

新型コロナウイルス感染症の影響により、輸送量・運送収入ともに目標に到達しない系統がほとんどであったが、2系統で目標を達成することができた。なお、感染症以外の輸送量減等の要因については、各系統ごとに特定の原因を求めることは難しく、過疎化や少子高齢化の進展による市街地周辺部の人口減少、マイカー依存傾向などによって、利用者の長期的減少が続いていること等が要因であると考えている。

今後の課題、対応(Action)

今後は、既に策定を終えた地域公共交通計画・地域公共交通利便増進実施計画の更新・進捗管理等を適切に行うとともに、県内全ての圏域を網羅するよう両計画の策定作業を進めていく。これらの計画に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、系統の分割や統合等について検討を行い、利用者増や運行効率の改善を図るほか、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数の回復の為に感染防止対策を積極的に進め、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指したいと考えている。

系統図



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

別添1

令和4年1月26日

協議会名:大分県地域間生活交通確保維持協議会

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大分バス(株) 臼杵線	金池ターミナル ～県立病院 ～臼杵港フェリーターミナル	「大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画」、「大分県豊肥圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 2,772.0 【実績:実績運行回数】 2,772.0	C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 136,555人 【実績】 94,777人 (達成度69.4%) ・運送収入 【目標】 30,437,082円 【実績】 20,218,702円 (達成度66.4%)	令和3年9月に策定した「大分県豊肥圏地域公共交通計画」及び「大分県豊肥圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。
大分バス(株) 伯大線(急行)	金池ターミナル ～県立病院入口 ～佐伯駅 【車両導入】 H28:2台 H29:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台 ※導入車両は同社の下記対象系統にて共有	「大分県南部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県南部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A. 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 1,942.5 【実績:実績運行回数】 1,942.5	C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 164,750人 【実績】 122,571人 (達成度74.4%) ・運送収入 【目標】 73,676,000円 【実績】 45,437,823円 (達成度61.7%) ※伯大線(急行)・伯大線(コスモタウン)の計	令和3年9月に策定した「大分県南部圏地域公共交通計画」及び「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善・創添(特記事項を含む)
大分バス(株) 上浦線	西田病院 ～長田 ～蒲戸 【車両導入】 H28:2台 H29:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台	「大分県南部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県南部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 2,415.0 【実績:実績運行回数】 2,415.0	C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 57,632人 【実績】 44,684人 (達成度77.5%) ・運送収入 【目標】 12,500,000円 【実績】 10,787,732円 (達成度86.3%)	令和3年9月に策定した「大分県南部圏地域公共交通計画」及び「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為の感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。令和4年度からは佐伯市のコミュニティバスに移行することから、補助対象外となる。
大分バス(株) 佐賀関線	大分駅前 ～鶴崎 ～佐賀関 【車両導入】 H30:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台	「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県中部圏地域公共交通再編実施計画」に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、系統の分割や統合等について検討した。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 6,481.0 【実績:実績運行回数】 6,481.0	B 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 【目標】 417,736人 【実績】 368,312人 (達成度88.2%) ・運送収入 【目標】 93,775,478円 【実績】 76,214,680円 (達成度81.3%)	平成29年度に策定した「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」、昨年度に策定した「大分県中部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為の感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善・創添(特記事項を含む)
大分バス(株) 伯大線(コスモタウン)	金池ターミナル ～県立病院・コスモタウン ～佐伯駅 【車両導入】 H28:2台 H29:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台	「大分県南部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県南部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 1,577.0 【実績:実績運行回数】 1,577.0	C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 164,750人 【実績】 122,571人 (達成度74.4%) ・運送収入 【目標】 73,676,000円 【実績】 45,437,823円 (達成度61.7%) ※伯大線(急行)・伯大線(コスモタウン)の計	令和3年9月に策定した「大分県南部圏地域公共交通計画」及び「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。
大分バス(株) 鶴見線	佐伯駅 ～鶴見地区公民館前 【車両導入】 H28:2台 H29:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台	「大分県南部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県南部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 1,653.0 【実績:実績運行回数】 1,653.0	B 一部、目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員が目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 24,992人 【実績】 21,168人 (達成度84.7%) ・運送収入 【目標】 5,660,000円 【実績】 6,117,131円 (達成度108.1%)	令和3年9月に策定した「大分県南部圏地域公共交通計画」及び「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。令和4年度からは佐伯市のコミュニティバスに移行することから、補助対象外となる。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善・創添 (特記事項を含む)
大分バス(株) 米水津線	佐伯駅 ～米水津振興局 【車両導入】 H28:2台 H29:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台	「大分県南部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県南部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 1,334.0 【実績:実績運行回数】 1,334.0	C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 29,254人 【実績】 16,000人 (達成度54.7%) ・運送収入 【目標】 9,619,000円 【実績】 3,614,107円 (達成度37.6%)	令和3年9月に策定した「大分県南部圏地域公共交通計画」及び「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。令和4年度からは佐伯市のコミュニティバスに移行することから、補助対象外となる。
大分バス(株) 青山経由蒲江線	佐伯駅 ～山口 ～道の駅かまえ 【車両導入】 H28:2台 H29:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台	「大分県南部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県南部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 1,653.0 【実績:実績運行回数】 1,653.0	C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 44,837人 【実績】 23,814人 (達成度53.1%) ・運送収入 【目標】 21,283,000円 【実績】 11,896,450円 (達成度55.7%)	令和3年9月に策定した「大分県南部圏地域公共交通計画」及び「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。令和4年度からは佐伯市のコミュニティバスに移行することから、補助対象外となる。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善別添 (特記事項を含む)
大分バス(株) 直川線	海の市場まる ～コスモタウン ～直川振興局 【車両導入】 H28:2台 H29:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台	「大分県南部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県南部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 1,454.0 【実績:実績運行回数】 1,454.0	C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 43,470人 【実績】 21,520人 (達成度49.5%) ・運送収入 【目標】 14,019,000円 【実績】 6,260,521円 (達成度44.7%)	令和3年9月に策定した「大分県南部圏地域公共交通計画」及び「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復のための感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。令和4年度からは佐伯市のコミュニティバスに移行することから、補助対象外となる。
大分バス(株) 畑野浦経由蒲江線	佐伯駅 ～畑野浦 ～仲川原 【車両導入】 H28:2台 H29:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台	「大分県南部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県南部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 1,758.0 【実績:実績運行回数】 1,758.0	C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 50,867人 【実績】 30,196人 (達成度59.4%) ・運送収入 【目標】 28,298,000円 【実績】 14,329,621円 (達成度50.6%)	令和3年9月に策定した「大分県南部圏地域公共交通計画」及び「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復のための感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。令和4年度からは佐伯市のコミュニティバスに移行することから、補助対象外となる。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(別添(特記事項を含む))
大分交通(株) 国大線	大分駅前 ～田深 ～国東 【車両導入】 H28:1台 H29:1台 H30:1台 R元:1台 R2:1台 R3:1台	「大分県東部圏地域公共交通網形成計画」に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、利用状況に応じた増便や減便、系統の分割や統合等について検討した。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 2,367.0 【実績:実績運行回数】 2,347.0	C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 198,153人 【実績】 135,023人 (達成度68.1%) ・運送収入 【目標】 45,636,059円 【実績】 36,669,683円 (達成度80.4%)	令和2年3月に策定した「大分県東部圏地域公共交通網形成計画」及び令和3年10月に策定した「大分県東部圏利便増進実施計画」において、利用者増や運行効率の改善等を含めた具体的な路線の再編について検討を進める。また、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。
大交北部バス(株) 中日線	中津駅前 ～新万田・旬菜館 ～守実温泉	「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 3,386.0 【実績:実績運行回数】 3,346.5	A 目標を達成することができた。中日線3系統を1系統に再編したことで、目標達成に至った。 ・輸送人員 【目標】 50,492人 【実績】 69,325人 (達成度137.3%) ・運送収入 【目標】 16,714,750円 【実績】 18,694,138円 (達成度111.8%)	令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善削添(特記事項を含む)
大交北部バス(株) 中安線	安心院 ～下田の口 ～中津駅前	「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 2,426.0 【実績:実績運行回数】 2,414.0	A 目標を達成することができた。 中安線2系統を1系統に再編したことで、目標達成に至った。 ・輸送人員 【目標】 47,017人 【実績】 56,352人 (達成度119.9%) ・運送収入 【目標】 15,498,770円 【実績】 16,443,547円 (達成度106.1%)	令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。
大交北部バス(株) 国道中高線	豊後高田 ～宇佐駅・宇佐市役所 ～四日市	「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 3,922.5 【実績:実績運行回数】 3,913.5	B 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 39,171人 【実績】 35,522人 (達成度90.7%) ・運送収入 【目標】 9,302,990円 【実績】 7,724,421円 (達成度83.0%)	令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大交北部バス(株) 伊美線	宇佐駅前 ～竹田津港・伊美港 ～伊美	「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。	A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 2,916.0 【実績:実績運行回数】 2,900.5	C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大きく減少したことから、輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 35,585人 【実績】 28,551人 (達成度80.2%) ・運送収入 【目標】 16,917,158円 【実績】 13,061,438円 (達成度77.2%)	令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に感染防止対策や各種の利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。

(本協議会における評価基準)

●計画に対して

- ・A…計画どおり、あるいはほぼ計画どおりに運行された。
- ・B…計画に対してほぼ90%以上は運行された。
- ・C…計画に対してほぼ90%以下の運行にとどまった。または、系統廃止となった。

●目標・効果に対して

- ・A…いずれの目標も達成した。
- ・B…いずれかの目標を達成した。または、いずれの目標も達成していないが、いずれも目標に対しておよそ20%程度減のレベルまでは達成している。
- ・C…いずれの目標も達成しておらず、目標に対しておよそ20%程度減のレベルまでも達成していない。

運行計画については、全15系統、計画どおり運行されており、事業は適切に実施された。

●輸送人員及び運送収入

前年度実績値に沿線人口の直近3カ年の平均増減率を乗別添値を維持する。(※再編特例対象の系統については、再編実施計画に記載されている目標値を使用。また、系統の再編にあたり、従前の補助対象系統を複数系統に分割した場合については、分割したそれぞれの系統の実績値の合計を再編実施計画に記載された目標値と比較する)

●車両導入系統(目標・効果達成状況は上記と同様)

輸送量の前年度実績値に沿線人口の直近3カ年の平均増減率を乗じた値を維持する。

▶大分バス(株):12台

H28:2台 今市線、野津原線、今畑線、野津原線(わさだタウン)

H29:2台 伯大線(急行)、上浦線、伯大線(コスモタウン)、鶴見線、米水津線、青山經由蒲江線、直川線、畑野浦經由蒲江線

H30:2台 佐賀関線

R元:1台 伯大線(急行)、上浦線、伯大線(コスモタウン)、鶴見線、米水津線、青山經由蒲江線、直川線、畑野浦經由蒲江線

1台 佐賀関線

R2 :1台 伯大線(急行)、上浦線、伯大線(コスモタウン)、鶴見線、米水津線、青山經由蒲江線、直川線、畑野浦經由蒲江線

1台 佐賀関線

R3 :1台 伯大線(急行)、上浦線、伯大線(コスモタウン)、鶴見線、米水津線、青山經由蒲江線、直川線、畑野浦經由蒲江線

1台 佐賀関線

▶大分交通(株):6台

H28:1台 国大線

H29:1台 国大線

H30:1台 国大線

R元:1台 国大線

R2 :1台 国大線

R3 :1台 国大線

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月26日

協議会名:	大分県地域間生活交通確保維持協議会
評価対象事業名:	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本県の乗合バスの輸送実績は、マイカーの普及や少子化・過疎化の進行等により昭和40年度の90,189千人をピークに年々恒常的に減少している。県内18市町村のうち16市町村(88.9%)が過疎関係市町村であり、財政基盤が極めて脆弱であることから、複数市町村にまたがる広域的・幹線的なバスシステムを維持するための補助金を十分に拠出するほどの財政力を有していないのが現状である。</p> <p>一方、買い物や通院、通学などの社会生活を営むための生活交通は必要不可欠であり、とりわけ、高齢者や学生など、移動するための交通手段を持たない人にとって、安全・安心な交通手段の確保は極めて重要であることから、交通手段の確保は大きな課題であり、その解決には、地域公共交通であるバスシステムをしっかりと確保・維持していくことが必要である。</p> <p>そのため、本県では、平成27年度から、市町村や交通事業者等で構成される「大分県地域公共交通活性化協議会」を設置し、県内を6圏域に分け、圏域ごとに、順次、地域公共交通の確保・維持・改善に係る地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画の策定を進めている。これまで、北部圏・豊肥圏・南部圏・東部圏において地域公共交通計画と地域公共交通利便増進実施計画、西部圏において地域公共交通計画を策定するとともに、西部圏の地域公共交通利便増進実施計画の策定作業中である。</p> <p>併せて、中部圏において、既に策定済の網形成計画及び再編実施実施計画の更新作業中であり、これらの計画に基づいて、利用者増や運行効率の改善を図るほか、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数の回復の為に感染防止対策を積極的に進め、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指したいと考えている。</p>

延岡市地域公共交通活性化協議会

事業名：令和3年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

概要

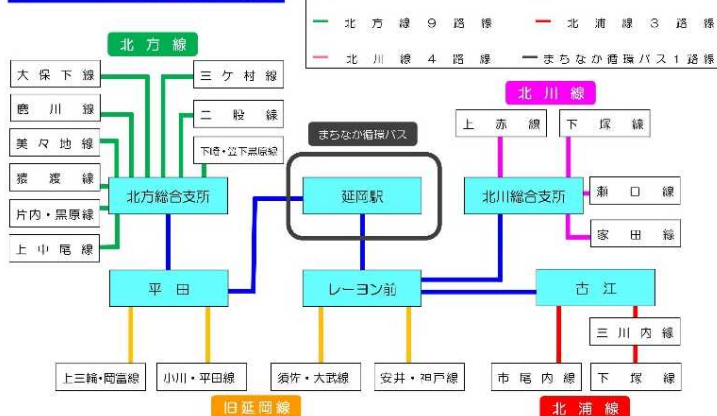
フィーダー系統路線図



乗合タクシー



まちなか循環バス



フィーダー系統は①コミュニティバス・乗合タクシー20系統、②まちなか循環バス1系統を運行【料金】①大人100円／中学生以下無料、②中学生以上200円／小学生100円／幼児無料【運行主体】

- 旧延岡線4系統・北浦線3系統
宮崎県タクシー協会延岡支部（宮交タクシー、延岡グリーンタクシー、扇興タクシー、宮崎第一交通）
- 北方線9系統：あさひ観光バス
- 北川線4系統：延岡市（自家用有償運送）
- まちなか循環バス1系統：宮崎交通

【現状】延岡市では、合併した旧3北地域を中心にコミュニティバスや乗合タクシーを運行しており、幹線系統の路線バス等と乗り継いで市の中心部へ通院や買物に行くことができるようになっている。また、市の中心部においては、まちなか循環バスが路線バスと連動して移動の利便性を向上させている。自家用車の普及や人口減少等によりバス利用者が減少しているが、交通弱者の移動手段や観光客の利便性向上等、まちづくりにおいて公共交通の確保・維持は今後も必要である。

基礎データ

合併状況：平成18年2月に北方町及び北浦町、平成19年3月に北川町と合併
人口：11.9万人（令和4年1月現在）
面積：868.02平方キロメートル
過疎地域等指定：過疎、離島、山村
高齢化率：35%
補助対象の系統数：21系統（確保維持事業のみ）
自治体負担額（H30）31,192千円、（R1）32,649千円、（R2）33,945千円
（コミュニティバス・乗合タクシー・まちなか循環バス合計）
協議会開催数：協議会3回（R2）

計画、目標(Plan)

本市は、市町村合併によって九州で2番目に広い面積の自治体となった。旧町の中心地域とは宮崎交通の路線バスで結ばれているものの、その他の地域では公共交通空白地域が広がり、高齢者等の日常生活に必要な移動手段のための公共交通体系の再編が必要であった。
平成31年3月に交通政策のマスタープランとなる延岡市地域公共交通網形成計画（計画期間：平成31年度～令和5年度）を策定。実施事業として「乗合タクシー等の持続性を高めるための運行形態の見直し」、「居住者の生活行動に応じた市街地運行路線の再編」を位置づけ、中山間地域等における公共交通サービスの維持、市内生活圏・定住自立圏を支える中心市街地機能の充実を目標とした取り組みを推進することとしている。

生活交通確保維持改善計画等の取組み(Do)

協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに、コミュニティバス・乗合タクシー・まちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。
乗合タクシーについては地域住民の要望に併せ、ダイヤ変更や路線変更を実施した。
まちなか循環バスについては、小学生の運賃無料化、キャンペーン実施等により乗客の確保を図った。
また、公共交通を活用した介護予防事業により、利用者の促進を図った。

実施状況、目標の達成(Check)

- 系統別の乗車率目標と実績（R2年10月～R3年9月） <単位：1回（1往復）あたり乗車人数>
- 3系統が目標達成（100%以上、A評価）、6系統が一部達成（80%以上、B評価）、12系統が未達（80%未満、C評価）
- ①美々地線 4.8→3.1
 - ②鹿川線 6.0→5.4
 - ③二股線 8.3→5.9
 - ④猿渡線 10.7→6.8
 - ⑤三ヶ村線 7.4→4.0
 - ⑥大保下線 13.1→11.3
 - ⑦下崎・笠下黒原線 2.7→1.4
 - ⑧片内・菅原線 7.4→5.8
 - ⑨上中尾線 11.6→11.6
 - ⑩下塚線 2.6→2.4
 - ⑪市尾内線 6.0→3.9
 - ⑫三川内線 4.6→3.5
 - ⑬上三輪・岡富線 2.0→2.8
 - ⑭安井・神戸線 3.0→2.1
 - ⑮須佐・大武線 4.8→5.0
 - ⑯小川線 2.4→1.0
 - ⑰上赤線 5.9→5.0
 - ⑱下塚線 4.8→4.7
 - ⑲瀬口線 4.2→2.0
 - ⑳家田線 2.1→1.8
 - ㉑まちなか循環バス 10.0→7.2

全路線の約4割にあたる9系統が目標値の80%以上達成しているが、特に⑤⑦⑯⑲の4系統は60%も満たしておらず、目標を大きく下回っている。沿線人口の減少、移動ニーズの変化等により利用者が減少している。

今後の課題、対応(Action)

- ・乗合タクシー及びコミュニティバスについては、特に利用が低迷している路線において利用者を集めた意見交換会（新型コロナウイルスの状況によりアンケート）を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。また、市の福祉部門が実施する公共交通を活用した介護予防事業により利用を促す。
- ・まちなか循環バスについては、延岡市バス利用促進協議会との連携による小学生の運賃無料期間に合わせたキャンペーン、バスでの「お出かけ企画」の実施、沿線飲食店や施設を紹介したガイドブックの配布等を実施する。さらに、市の福祉部門が実施する公共交通を活用した介護予防事業により利用を促す。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月27日

協議会名:延岡市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	①美々地線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ・路線⑧においては地域住民からの要望によりR3年9月から経路変更を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 1回当たりの乗車率4.8人の目標に対して、3.1人であった。 【分析】沿線人口の減少もあり近年、利用数も減少傾向にある。	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。
	②鹿川線			B 1回当たりの乗車率6.0人の目標に対して、5.4人であった。 【分析】年間通して概ね目標値に近い利用があった。	
	③二股線			C 1回当たりの乗車率8.3人の目標に対して、5.9人であった。 【分析】令和1年度から徐々に利用が減少している。	
	④猿渡線			C 1回当たりの乗車率10.7人の目標に対して、6.8人であった。 【分析】常連の利用客の利用がなくなる等により令和3年度から利用が減少した。	
	⑤三ヶ村線			C 1回当たりの乗車率7.4人の目標に対して、4.0人であった。 【分析】令和2年度に入り急激に利用者が減少。	
	⑥大保下線			B 1回当たりの乗車率13.1人の目標に対して、11.3人であった。 【分析】年間通して目標値に近い利用があった。	
	⑦下崎・笠下黒原線			C 1回当たりの乗車率2.7人の目標に対して、1.4人であった。 【分析】移動手段に困っている地域住民が少数であり移動のニーズに適していない可能性がある。	
	⑧片内・菅原線			C 1回当たりの乗車率7.4人の目標に対して、5.8人であった。 【分析】令和1年度から利用が減少している。	
	⑨上中尾線			A 1回当たりの乗車率11.6人の目標に対して、11.6人であった。 【分析】年間通して目標値の利用があった。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<共同運行> 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑩下塚線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 1回当たりの乗車率2.6人の目標に対して、2.4人であった。 【分析】 年間通して概ね目標値に近い利用があった。	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑬⑭⑯は令和3年11月～12月に意見交換会を実施し、移動需要の把握を行った。令和4年4月から経路・時刻表の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。
	⑪市尾内線			C 1回当たりの乗車率6.0人の目標に対して、3.9人であった。 【分析】 前年と大きな変化はないが、後期は定期受診や介護予防事業(ケアプリのべおか)参加者による利用が増えた。	
	⑫三川内線			C 1回当たりの乗車率4.6人の目標に対して、3.5人であった。 【分析】 令和2年度から利用が減少している。	
	⑬上三輪・貝の畑～岡富線			A 1回当たりの乗車率2.0人の目標に対して、2.8人であった。 【分析】 平成29年度の経路変更以降、路線が浸透し利用者が微増してきた。	
	⑭安井・神戸～レーヨン線			C 1回当たりの乗車率3.0人の目標に対して、2.1人であった。 【分析】 常連の利用者が要介護等で利用困難となった。	
	⑮須佐～大武線			A 1回当たりの乗車率4.8人の目標に対して、5.0人であった。 【分析】 年間通して目標値を上回る利用があった。	
	⑯小川～平田線			C 1回当たりの乗車率2.4人の目標に対して、1.0人であった。 【分析】 令和2年度に行ったダイヤ改正が地域の移動ニーズに適しておらず利用が減少した。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
延岡市 ※自家用有償旅客運送 ○北川線4系統	⑰上赤線 ⑱下塚線 ⑲瀬口線 ⑳家田線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりにコミュニティバスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 1回当たりの乗車率5.9人の目標に対して、5.0人であった。 【分析】年間通して目標値に近い利用があった。 B 1回当たりの乗車率4.8人の目標に対して、4.7人であった。 【分析】年間通して目標値に近い利用があった。 C 1回当たりの乗車率4.2人の目標に対して、2.0人であった。 【分析】常連であった利用者の死亡や転居により令和2年度から極端に利用が減少。 B 1回当たりの乗車率2.1人の目標に対して、1.8人であった。 【分析】年間通して概ね目標値に近い利用があった。	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑲⑳は地域住民の要望により令和4年4月から停留所の追加や経路の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。
宮崎交通(株) ○1系統	㉑まちなか循環バス	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりにまちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ・8月の小学生運賃無料期間に合わせて、乗車するとプレゼントが当たるキャンペーンを実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 1回当たりの乗車率10.0人の目標に対して、7.2人であった。 【分析】他の市内バス路線同様、新型コロナによる外出自粛等により利用が低迷した。	・小学生の運賃無料期間に合わせたキャンペーンを引き続き実施する。 ・自治会、高齢者クラブ等を対象としたバスでの「お出かけ企画」にてまちなか循環バスを活用する。 ・路線バスの観光モデルコースを掲載したガイドブックにまちなか循環バスの沿線店舗や施設を掲載LPRする。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月27日

協議会名：	延岡市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	令和3年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>延岡市は、平成18年2月に北方町、北浦町と平成19年3月に北川町と合併し、九州で2番目に面積の広い自治体となっている。延岡市を起点に地域間幹線系統の路線バスが、合併した旧北方町、旧北浦町及び近隣市町村と結ばれている。また、鉄道も日豊本線が市内を南北に走っている。</p> <p>本市のコミュニティバスや乗合タクシーは、合併した地域を中心に運行を行っており、利用者が他の幹線系統の路線バスや鉄道等乗り継いで市の中心部へ行くことが可能な支線(フィーダー路線)としての役割を果たしている。また、幹線系統の路線バスや駅等と結節する循環型の定期バス「まちなか循環バス」の運行により、幹線系統の路線バスや鉄道等で市の中心部へ来た利用者の病院、商業施設等へのアクセス向上や他の路線バスとも結節させることにより、中心市街地の活性化や路線バス全体の機能向上を図っている。</p> <p>これらの取組みは、市内の公共交通空白地域において車を運転できない高齢者等の交通弱者の通院や買い物など日常の生活交通手段としての役割も有しており、市民の生活に必要不可欠な交通としても機能している。</p> <p>このようなことから、地域公共交通確保維持事業により、これらの地域内フィーダー系統を確保・維持することで、地域住民の交通手段を存続させていくことが必要である。</p>

- 鉄 道：日豊本線
- 離島航路：日豊汽船
- 路線バス：宮崎交通 約50系統
- まちなか循環バス：1系統
- コミバス・乗合タクシー：20系統



乗合タクシー意見交換会

◎ 安井・神戸～レーヨン線

【出された意見】

<運行時刻について>

- ・ 帰りの便を今より早くしてほしい。今の時刻だと待ち長い。
- ・ 行きの便の時刻はちょうどいい。

<運行する曜日について>

- ・ 運行日は火曜、金曜のままでいい。今の曜日に合わせて病院も予約するようにしている。

<経路について>

- ・ 「神戸公民館前」停留所を集落のもっと奥の防災倉庫前に移設してほしい。
- ・ 商業施設の多い地域を経由してほしい。
- ・ かかりつけの病院で降りたい。

【運行日】 火曜・金曜
【運行回数】 1日1回（1往復）
【運賃】 1乗車100円
【使用車両】 ジャンボタクシー



「安井・神戸～レーヨン線」路線図（令和4年4月1日改正）



【変更のポイント】

- 新規区間①を延伸しフリー乗降区間とする。「神戸公民館前」停留所を廃止し、「防災倉庫前」停留所を新設する。
- 「大門」停留所を新設し、経路を新規区間②（無鹿バイパス経由）に変更する。
- 「那智入口」停留所（石内医院付近）を新設する。
- 帰りの便を1時間早める。

まちなか循環バス利用促進

◎ 夏得プレゼントキャンペーン



＼乗って当てよう!!／

まちなか循環バス 夏得 プレゼントキャンペーン

2021. 8/1 ▶ 8/31



のべおか観光物産
ステーション
お買物券2,000円分
15名様



スターバックスカード
1,000円分
10名様



図書カード
1,000円分
10名様



●交通系ICカードnimoca 20名様 ●ワンコインバス 30名様

小学生ははすれても
バスシールもらえる!
先着50名様▶



参加
方法

Step①

まちなか循環バスに
乗って「乗車証明書」
をゲット!



Step②

延岡駅の観光物産ステー
ションで乗車証明書1枚
につき1回抽選!
▶その場で賞品ゲット!



※抽選はどなたも参加できます。キャンペーン期間中、何度でも抽選できます。賞品がなくなり次第終了します。

まちなか循環バスについて

路線図・時刻表▼

- 運行日 月曜日～土曜日
※8/1(日)、8/29(日)臨時運行
- 運行時間 9時台～16時台
- 通常運賃 中学生以上：200円
小学生：100円、幼児：無料



＼さらに!／

キャンペーン期間中
まちなか循環バスの運賃

小学生は **0円!!**

※小学生は何回乗っても無料です。

主催：延岡市バス利用促進協議会
[延岡市地域・離島・交通政策課] ☎0982-22-7039



桜ヶ丘2区サロン お出かけ企画行程

令和3年11月4日(木) 14名

9:30	◎バスの乗り方説明(桜ヶ丘B地区集会所) ※職員対応
10:01	商業高校前 出発 ↓ バス(雷管行き) 300円
10:15	延岡駅 到着 乗換え
10:30	延岡駅 出発 ↓ まちなか循環バス(外回り) 200円
11:10	平の前(かわまち交流館前) 到着 昼食休憩
12:10	平の前(かわまち交流館前) 出発 ↓ まちなか循環バス(外回り) 200円
12:30	延岡駅 到着 エンクロス見学
13:02	延岡駅 出発 ↓ バス(延岡共立病院行き) 160円
13:06	レーヨン前 到着 マックスバリュ岡富店買物
14:18	レーヨン前 出発 ↓ バス(桜ヶ丘行き) 300円
14:27	商業高校前 到着

※運賃合計:1,160円

まちなか循環バス利用促進

◎バス観光ガイドブック

のべおか 路線バス 観光・グルメガイドブック

第2弾

バスコース

お店に持って行くとお得に利用できるガイドブック

本日、晴天なり。
私はバスで移動します。

まちなか循環バス 路線内おすすめ立ち寄りスポット / 路線内おすすめグルメスポット

延岡駅発着おすすめモデルコース 室野酒舗・赤子川園・赤松・門前山登山口・外浦橋・福田橋

VISIT MIYAZAKI BUS PASSのご案内

まちなか循環バスペーパークラフト付き

特典 20店舗 特典つき

まちなか循環バスとは?

9時台から15時台まで、10時に1回運行
 片道 (延岡駅) → 延岡駅前
 片道 (延岡駅前) → 延岡駅

9時台から15時台まで、10時に1回運行
 片道 (延岡駅前) → 延岡駅前
 片道 (延岡駅前) → 延岡駅

1日フリー乗車券 400円
 延岡駅発着バス1日乗車券400円
 延岡駅前発着バス1日乗車券400円

◆日本一の弘法大師像

延岡市延岡区... 弘法大師像... 延岡市延岡区... 弘法大師像... 延岡市延岡区... 弘法大師像...

◆ヘルストピア延岡

延岡市延岡区... ヘルストピア延岡... 延岡市延岡区... ヘルストピア延岡... 延岡市延岡区... ヘルストピア延岡...

◆千徳酒造株式会社

延岡市延岡区... 千徳酒造株式会社... 延岡市延岡区... 千徳酒造株式会社... 延岡市延岡区... 千徳酒造株式会社...

◆延岡城跡・城山公園

延岡市延岡区... 延岡城跡・城山公園... 延岡市延岡区... 延岡城跡・城山公園... 延岡市延岡区... 延岡城跡・城山公園...

◆延岡駅前 複合施設 エンクロス

延岡市延岡区... エンクロス... 延岡市延岡区... エンクロス... 延岡市延岡区... エンクロス...

◆かわまち交流館

延岡市延岡区... かわまち交流館... 延岡市延岡区... かわまち交流館... 延岡市延岡区... かわまち交流館...

◆延岡市役所

延岡市延岡区... 延岡市役所... 延岡市延岡区... 延岡市役所... 延岡市延岡区... 延岡市役所...

◆延岡市立図書館

延岡市延岡区... 延岡市立図書館... 延岡市延岡区... 延岡市立図書館... 延岡市延岡区... 延岡市立図書館...

路線内おすすめグルメスポットその2

◆JAPAN カレー亭

延岡市延岡区... JAPAN カレー亭... 延岡市延岡区... JAPAN カレー亭... 延岡市延岡区... JAPAN カレー亭...

◆レストランリオン

延岡市延岡区... レストランリオン... 延岡市延岡区... レストランリオン... 延岡市延岡区... レストランリオン...

◆喫茶 豊隆

延岡市延岡区... 喫茶 豊隆... 延岡市延岡区... 喫茶 豊隆... 延岡市延岡区... 喫茶 豊隆...

◆日本産 和食 彩彩

延岡市延岡区... 日本産 和食 彩彩... 延岡市延岡区... 日本産 和食 彩彩... 延岡市延岡区... 日本産 和食 彩彩...

◆雑多 ラーメン しばらく

延岡市延岡区... 雑多 ラーメン しばらく... 延岡市延岡区... 雑多 ラーメン しばらく... 延岡市延岡区... 雑多 ラーメン しばらく...

◆カレー専門店 グルハス

延岡市延岡区... グルハス... 延岡市延岡区... グルハス... 延岡市延岡区... グルハス...

◆いちのいちご園

延岡市延岡区... いちのいちご園... 延岡市延岡区... いちのいちご園... 延岡市延岡区... いちのいちご園...

◆カフェテリア延岡

延岡市延岡区... カフェテリア延岡... 延岡市延岡区... カフェテリア延岡... 延岡市延岡区... カフェテリア延岡...

乗合タクシー・まちなか循環バス利用促進

◎ 公共交通を活用した介護予防事業



【会場】 市内 6ヶ所
【回数】 各会場週 1 回程度
【内容】 運動機能向上・改善プログラム
口腔機能向上・改善プログラム
認知機能低下予防プログラム
栄養状態改善プログラム



バスコース

お店に持って行くとお得に利用できるガイドブック

バスで手軽に旅気分

延岡市は工業都市として発展する一方で、海と山と川が織りなす大自然と、人が住む街とが密接な距離にあることから、住みやすいだけでなくアウトドアレジャー観光でも注目を集めています。

さらに、大自然が育んだ食材は世界の料理人や著名な食の評論家からも一目置かれるほど質の高いものばかりがそろい、その豊かな食材を使用したレストランも数多く点在しています。

近年では、延岡市の中心部に、観光と市民との交流の拠点として『かわまち交流館』や延岡市駅前複合施設『エンクロス』が誕生するなどにぎわいを見せています。

そんな新スポットや観光地、市内の主要な場所をバスで巡り、手軽に旅気分を満喫しませんか？

バス利用がお得に！もっと便利に！

その1

宮崎・延岡・都城

市内近郊エリア乗り放題 ワンコインパス

土日祝限定

大人券 500円
こども券 250円



宮崎交通の窓口のほか、コンビニでもお求めいただけます
商品番号：延岡 0227603

宮崎交通の路線バスなら、各市内近郊エリア内で、1日に何回でも乗車できます！



その2

路線バスの検索がより便利に！Googleマップで発時刻が検索できるように！

①目的地を入力 ②経路検索で公共交通機関を選択

③目的地までのバスの発時刻が分かる！



その3



交通系ICカードはバス・電車の乗車はもちろん、便利な電子マネーとしてお買い物にもご利用いただけます。

延岡エリア路線図



PDFファイルへリンクします

延岡エリア時刻表



宮崎交通HPへリンクします

路線バスショートムービー『よっつやさいストーリー』



延岡市HPへリンクします

本日も晴天なり。
私はバスで移動します。

まちなか循環バス 路線内おすすめ立ち寄りスポット／路線内おすすめグルメスポット

延岡駅発着おすすめモデルコース 宮野浦線・祝子川温泉線・行隣山登山口線・外浦線・熊田線

VISIT MIYAZAKI BUS PASSのご案内

まちなか循環バスペーパークラフト付き

対象店
20店舗
特典つき

まちなか循環バス路線図



まちなか循環バスとは？

9時台から16時台まで、1時間に1便運行
内回り線（反時計回り）はオレンジ系
外回り線（時計回り）はグリーン系の車両です。

-運行-
 月曜日～土曜日（日曜・祝日・年末年始12月30日～1月3日運休）
 -利用料金-
 中学生以上：200円／小学生：100円／幼児：無料

時刻表など詳しくはこちら

1日フリー乗車券

循環バス終日乗り放題で 400円
 小学生 200円

宮崎交通延岡支店・バスの車内等で販売中



延岡駅前複合施設 エンクロス MAP A

2018年4月「新しく 自由のあるまち」をコンセプトに、延岡市の玄関口であるJR延岡駅前に誕生した複合施設「エンクロス」。館内にはカフェが併設されており、コーヒーなどの飲み物を片手に約4万冊の図書を楽しめる、Book&Cafeスタイルの施設となっています。また、エンクロスでは、様々な世代の人々が参加できる、多彩な市民活動やイベントが催されており、まちが元気になる賑わいの空間として親しまれています。

住 延岡市幸町3丁目4266番地5 電 0982-20-3900
 営 8:00～21:00（待合スペースは5:00開館）
 休 年中無休

バス停
 延岡駅



かわまち交流館 MAP B

2018年4月にオープンした、延岡の食材や料理人を活かすイベントなど「食を通じた市民交流の場」として活用することができる施設。延岡市の秋の風物詩「鮎やな」の食事処として活用されるほか「鮎やな」の時期以外も、飲食店事業者や一般の方も施設の利用が可能です。農林水産物を活用したマルシェ、食材見本市、ワークショップやセミナーなど、多様なスタイルで自由に企画できる設備が充実しています。ユニバーサルデザインで1階・2階を合わせて最大220名収容可能、そして広々とした駐車場も完備されています。

住 延岡市大貫町三丁目 大瀬大橋下流河川敷 電 0982-20-5010
 営 8:00～22:00
 休 12月31日、1月1日

バス停
 平の前
 （かわまち交流館前）

路線内おすすめ立ち寄りスポット

◆日本一の弘法大師像（今山大師寺） MAP C



1839年延岡の地で疾病が猛威を振るった時、大師信徒たちが高野山金剛峰寺から、弘法大師座像を勧請して「家内安全」「息災延命」「五穀豊穡」「商工発展」の祈願のために大師庵を経てたことが縁起となっています。頂上には高さ17メートルもの「日本一の弘法大師像」が鎮座しており、願いを込めて足を撫でると願いが叶うと言われ、県内外から参拝客が訪れます。弘法大師のご入定（命日）の旧暦3月21日を供養と感謝の日として、毎年4月の金・土・日曜日に「今山大師祭」が盛大に行われ、市中大パレードも開催されます。

住 延岡市山下2丁目3998 電 0982-32-5290

バス停
 恵比須町

◆ヘルストピア延岡 MAP D



大浴場や広くゆったりした遠赤外線サウナをはじめ、メニュー湯、うずまき湯、寝湯、露天風呂など種類が豊富な入浴設備があります。さらに、健康スタジオ、レストランのほか、温水の流れるプールやウォータースライダーがあり、季節を問わず一年を通して遊べる総合健康レジャー施設です。すべて屋内に完備されている全天候型なので、小さなお子様から高齢者までゆっくり楽しむことができます。

住 延岡市長浜町3丁目1954-2 電 0982-34-1111
 営 10:00～22:00 休 月曜日

バス停
 ヘルストピア
 延岡前

◆千徳酒造株式会社 MAP E



水質ランキング日本一の五ヶ瀬川水系下流大瀬川の近くに位置し、焼酎王国と呼ばれる宮崎県にあって唯一の清酒専門酒造会社です。洗米から出荷まで、出来る限り昔ながらの手作業を大切にすることにこだわり続け、機械を使用しなければならない工程でも目視を徹底し、常に細やかな状況の把握をすることで上質な清酒を醸し出し、数々の賞を受賞しています。また、蔵に隣接する「はななぐら館」では試飲や購入が可能です。

住 延岡市大瀬町2-1-8 電 0982-32-2024
 営 10:00～18:00 休 日曜日

バス停
 安賀多五丁目
 のべおか三蔵

◆延岡城跡・城山公園 MAP F



1603年（慶長8年）高橋元種により完成し、その後、1747年（延享4年）内藤家9代目が現在の福島県いわき市より延岡へ入封して第16代政挙公まで延岡藩主を務め、明治維新を迎えるまで栄えた延岡城。現在は市民の憩いの場として親しまれています。12月～3月にかけては園内に自生する108種、3,000本のヤブツバキが咲き誇り、日本三大ヤブツバキ群として知られています。また、3月～4月にかけては250本の桜が花を開かせ、ヤブツバキと桜のコラボレーションを楽しむことができます。

電 0982-22-7022（延岡市役所 都市計画課）

バス停
 市役所前西

◆延岡市役所 MAP G



2016年11月に落成式が行われた本庁舎。1階には地元出身の美術家小松孝英氏の絵画が壁に掲げられた市民スペースがあり、2階にはカフェテリアが入店し、市民が利用しやすい交流の場、憩いの場となっています。

住 延岡市東本小路2番地1 電 0982-34-2111(代表)
 営 8:30～17:15
 休 土・日・祝、年末年始

バス停
 市役所前西

◆延岡市立図書館 MAP H



図書館と多目的ホール・ハーモニーホール・アートギャラリーなどのカルチャー施設があつまり、市民の生涯学習と文化活動促進の拠点となっています。館内には声を出して読み聞かせを楽しめるスペースや、くつろぎコーナーなどがあり、開館から閉館まで本に親しむ人が数多く訪れています。

住 延岡市本小路39番地1 電 0982-32-3058
 営 9:00～19:00 / 土日祝 9:00～17:00
 休 月曜日（祝日を除く）、第1金曜日（6月及び祝日を除く）、年末年始、特別資料整理期間（6月第2週の火曜日から11日間）

バス停
 図書館前



特典
ご利用時の
注意点

・ガイドブックを持って来店したお客様1名のみ特典を受けられます。
・特典を受けることができるのは1店舗につき1回です。
・他の割引サービス等との併用はできません。

特典利用期限
2020年10月31日まで

◆田舎屋

バス停 延岡駅



良質な国産の蕎麦を石臼で挽くこだわりの「自家製粉」を使用した手打ちそばが自慢。また、うどんも手打ちするなど、体に安全で優しい料理が提供されています。現在は2代目がそば職人を引き継ぎ、日々蕎麦と向き合いながら奮闘しているのだそう。冬季は先代が作った土鍋で直火にかけた「鍋焼うどん」が大人気。グツグツと煮立つ状態でテーブルに運ばれるダイナミックさに驚くこと間違いなし！



特典
お食事の方に
お茶
(ティーバック)
プレゼント



MAP 1

住 延岡市栄町7-11 電 0982-21-6628
営 11:00~14:00/17:00~19:30 休 不定休

◆コワーキングn計画

(のべおかブランディング計画)

バス停 幸町



昼間は延岡初のコワーキングスペース、夜はスナックとして営業スタイルを変え、柔軟な働き方や新たな延岡を作る会社を応援する場所として「のべおかのブランド化」をテーマとするクリエイティブ団体が2019年にオープン。テーブル席、カウンター、お座敷、プロジェクターやホワイトボード等の設備が充実しており、Free Wi-Fiも完備しているのでイベントスペースとしても活用できる。使用料はゲスト制と会員制が設けられ、ライフスタイルに合わせて利用できます。



特典
コワーキング
スペース利用の方に
ドリンク1杯無料



MAP 2

住 延岡市幸町1丁目123 タケダビル2F 電 080-3960-1179
営 10:00-18:00 (コワーキング) (n計画事務局・甲斐)
18:00-24:00 (スナック) 休 日曜日+不定休

◆日本料理 高浜

バス停 中央通二丁目



大正5年創業の100年を越える老舗店。今では延岡の郷土の味として定着した「めひかり」料理を考案した銘店です。「めひかり」は延岡近海で水揚げされる深海魚で、あっさりした淡白な肉質とさらりとした脂が特徴。劣化が早いので、新鮮な状態で入荷できるように独自のルートを確認し、他店では珍しい刺し身や寿司も提供されます。また「めひかりの唐揚げ」は地方発送も可能。ご自宅でも延岡の郷土料理を味わうことが可能です。



特典
お食事の方に
星はコーヒール
夜はおまかせ一
品サービス



MAP 5

住 延岡市北町1-2-11 電 0982-32-2366
営 11:00~14:00/17:00~21:00
休 日曜日(変更時もあり)

◆愛甲うなぎや

バス停 中央通二丁目



創業85年。4代目を務める秋田さんは17歳から「焼く職人」として厨房に入ってきた生粋のうなぎ職人。伝統の味を守ると同時に新しいうなぎ料理の開拓も率先して行い、次々に考案した創作料理の品数に定評があります。酒類も豊富に準備され、お酒とともにうなぎのフルコースが堪能できるので特別な会食にもおすすめ。蒲焼・うな重のテイクアウトも可能です。



特典
お食事の方に
ソフトドリンク
サービス



MAP 6

住 延岡市本町1丁目3-4 電 0982-32-3527
営 11:00~14:00/16:30~21:00
休 月曜日

◆rico tacna

バス停 祇園町



店主が10歳まで過ごした南米ペルーの家庭料理を原点として、ラテンアメリカの力強いテイストにフレンチ等の技法でアレンジを加えた創作ペルー料理店。2008年オープン当初は、延岡市に馴染みのないジャンルだからと食べやすくアレンジしていたものの、徐々にファンが増えるにつれて本場さながらの味わいを求められるようになり、現在は地元の安心安全な食材に現地のスパイスを効かせた本格的な料理が人気を集めています。



特典
お食事の方に
ドリンク1杯無料



MAP 3

住 延岡市瀬之口町1丁目2-6 電 0982-35-2080 <要予約>
営 11:30~14:30/18:00~22:00
休 木曜日

◆旬菜食事処 丸玄

バス停 中央通一丁目・二丁目



炊きたてが楽しめる1人前サイズの釜飯は常時約10種類を用意。さらに、食材の旬に合わせた季節限定の釜飯もあり、年間を通して様々な味が楽しめます。人気は、北海道産の海の幸を使った「北海釜めし」。魚介のダシがふっくらご飯に染み込んだ贅沢な一品です。また黒酢を効かせたチキン南蛮などの創作料理も豊富で、学生から家族連れまで様々な世代に愛されています。



特典
お食事の方に
①お会計から1割引
②500円のお食事券
プレゼント



MAP 4

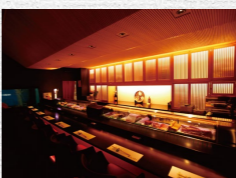
住 延岡市中央通1丁目1-4 電 0982-26-1488 <要予約>
営 11:00~14:00 (L.O. 13:30)/18:00~22:00 (L.O. 21:30)
休 不定休

◆松乃寿司

バス停 イオン延岡



カウンターから100名収容可能な大宴会場まで完備された老舗の寿司店。カウンターのショーケースには天然の地魚や旬の魚が並べられており、落ち着いた雰囲気の中でゆったりと食事を楽しむことができます。また、四季折々の味覚をふんだんに使用した季節限定懐石も登場し、足繁く通う海鮮ファンの姿が多く見られます。宴会では予算に応じてもらえるので、リーズナブルなランチ会や豪華な祝賀会など様々なニーズに合わせて利用可能です。



特典
お食事の方に
デザートサービス



MAP 7

住 延岡市安賀多町1-2-15 電 0982-32-4659
営 11:00~22:30 (L.O. 21:45)
休 不定休

◆Cafe 蒼空 -SORA-

バス停 総合文化センター前



知的障がい者の社会参加と就労を目的に「延岡総合文化センター」内にオープンしたカフェ。店の窓からは愛宕山が見え、白色や木材の茶色を基調とした落ち着いた雰囲気の中で、日替わりランチやカレー、パスタがメニューに並ぶほか、こだわりのコーヒーやエスプレッソ、カフェアートなどのドリンク類が充実しています。公演鑑賞の待ち合わせや、打ち合わせにも最適です。



特典
お食事の方に
小さなデザート
プレゼント



MAP 8

住 延岡市東浜砂町611-2 延岡総合文化センター内
電 0982-26-0255
営 11:30~18:00 (L.O. 17:30)
休 火曜日・水曜日(イベントによる変更有り)



◆JAPAN カレー亭

バス停 東出北



結婚式のシェフとして努めながら、大好きなカレーを主役にしたお店をしたというかねてからの夢を叶え4年前にオープン。「カレーはもはやアートの世界」だと語る甲斐シェフのこだわりは、オリジナルスパイスに留まらず、素材や色合いにも表現されています。絵画のように盛り付けられ、まるで宝石の様に艶やかなカレーは必食の価値あり！また、延岡藩内藤家の御家中料理で「八杯おかわりするほどおいしい」といわれる延岡市の郷土料理「八杯汁」がセットで提供されます。



特典
お食事の方にソフトドリンクサービスは降く！
セットコースのデザートも付く(ランチは除く)

MAP 9
住 延岡市出北2丁目-18 電 0982-32-6133
営 11:30~14:00 休 木曜日



◆レストラン リオン

バス停 出北



リーズナブルでカジュアルなフレンチレストランをコンセプトに創業して32年。「地元の人に気軽に楽しんでもらいたい」との店主の思いは今もブレることなく、お得なランチコースから本格的なフルコースまで幅広く用意されています。創業当時の常連客には家族3代にわたって利用されている方もいらっしゃるのだそう。各種パーティ等の利用も多いお店です。



特典
セットコースのデザートも付く(ランチは除く)

MAP 10
住 延岡市出北2丁目20-8-101 電 0982-21-5608
営 11:30~14:30 (L.O.13:45) / 17:30~21:30 (L.O.20:30)
休 木曜日



◆喫茶 亜珈

バス停 イオン延岡



創業45年を越える老舗の喫茶店。特定の生産農家から仕入れるお米を使用した美味しいご飯や、お味噌汁など全てのメニューは「つくりたて」にこだわり提供されています。お昼時には、日替わりランチを求めてやってくる常連客で賑わい、平日の午後や休日にはコーヒーを片手に本を読みながら自分の時間をゆったりと過ごす人たちが集まり昔ながらの喫茶店の風情を楽しむことができます。



特典
お食事の方にコーヒーサービス

MAP 13
住 延岡市安賀多町3丁目4-8 電 0982-34-6665
営 9:00~17:00
休 火曜日



◆日本料理 御膳処 翠光

バス停 あたご整形外科前



創業100年を越える老舗店で、現在は4代目店主が地元産や旬の食材にこだわった膳や会席料理を中心に提供されています。お昼の日替わりメニュー「せせらぎ膳」や豪華な「やまびこ膳(要予約)」は、品数が多く持ち帰りもできるため、特に女性からの人気を集めています。夜は宮崎牛や地どれの魚のメニュー、天ぷらや海鮮などの一品料理も豊富にそろう、座敷も有るので小さなお子様連れの方でも安心です。



特典
お食事の方にバックに詰め込めるバックプレゼント

MAP 14
住 延岡市恒富町4-78 電 0982-32-2200
営 11:00-14:00 / 18:00-21:00
休 火曜日



◆博多ラーメン しばらく

バス停 ホームワイド出北前



本場博多で修行した店主が試行錯誤の末に完成させた絶品スープと毎朝博多から届く細麺を使用した、ラーメンファンが足繁く通う店。35kgの豚骨をハンマーでかわり、ペーストになるまで45時間ほど煮込んだスープは創業当時から継ぎ足し続けているからコクと味の深みが格別！店名には歌舞伎の演目「暫(しばらく)」で掛けられる「いよっ十八番！」の掛け声に由来し、博多ラーメンの「十八番(おはこ)」を目指した店主の信念が込められているのだそう。



特典
ラーメンを注文した方に限り、餃子4個サービス

MAP 11
住 延岡市出北3-19-30 電 0982-33-2329
営 11:00~14:30 / 17:30~23:30
休 月曜日



◆カレー専門店 ビーグルハウス

バス停 イオン延岡



肉の種類や具材によってスパイスのブレンドや味が違うカレーソースを豊富にそろえる本格派カレー専門店。甘口から大辛まで好みに合わせてセレクト可能です。延岡に訪れた時には必ず訪れるというカレー好きの著名人による口コミで、カレー通の間では周知の名店となっています。カレーソースはテイクアウトも可能で、自宅でも本格的なカレーが堪能できます。



特典
お食事の方にコーヒーサービス

MAP 12
住 延岡市旭町1丁目5-4 電 0982-34-8065
営 11:30~15:00 / 18:00~20:00
休 第1,3,5日曜日 / 第2,4日曜日



◆いちにのいちご園

バス停 サンレー紫雲閣前



開園2年目のまちなか観光いちご園。広々とした6棟のハウスで「さがほのか」「紅ほっぺ」「とちおとめ」「おいCベリー」の4品種を栽培し、それぞれの味を食べ比べできるのが魅力。車椅子利用の方や小さなお子様でもゆっくりといちご狩りができるように通路は広く確保され、駐車場・トイレも完備されています。人気の品種は早いもの勝ちですよ！



特典
お持ち帰りのいちごバック50円引き(いちご狩り入場券別)

MAP 15
住 延岡市大貫町4丁目1439 電 080-1536-4202 ※要予約
営 10:00~16:00 ※1月~5月
休 月曜日・金曜日



◆カフェテリア延岡

バス停 九電前・市役所西



メニューのプレートをお好みでチョイスして、その日の気分や体調に合わせてオリジナルの定食を組み合わせることができる「カフェテリア」形式のレストラン。市役所新庁舎が2016年に建設されると同時に2階にオープンし、一般の方の利用が可能です。すべてリーズナブルな設定でランチタイムは味噌汁が無料となります。



特典
お食事の方にホットコーヒーサービス

MAP 16
住 延岡市東本小路2-1 延岡市役所2階 電 0982-33-6377
営 11:00~17:00 (ランチタイム11:00~14:00)
休 日曜日・祝日(土曜日不定休)





延岡駅発着おすすめモデルコース

Course 1 宮野浦線 島野浦島1泊コース

【土・日・祝の場合】
バス運賃 往復 1,000円
(ワンコインバスを2日間使用の場合)

「島の宝」の島景に
運出された食・アクティビティが
充実する宮崎県最大の有人島



島野浦島(島野浦島)

延岡駅

12:54 発

浦城港

13:24 着

高速艇
10分

島野浦 中央港

14:00
チェックイン

◆島民泊 遊季(ゆきぎ)



まるで親戚のお家に遊びに来たように、どこか懐かしく感じてホッとリラックスできるアットホームな島の民泊。島野浦どれの魚を使った郷土料理が人気で、島内の散策や、シーカヤックや海釣り、クルージングなど各種アクティビティへの対応も可能です。



住 延岡市島浦町40-2(結城家) 電 090-3662-0982
※完全予約制
料金 お1人様 6,000円(1泊2食付き)

9:00~朝食
チェックアウト

島野浦 中央港

10:30 発

高速艇
10分

浦城港

10:40 着

浦城港

10:41 発

延岡駅

11:10 着

バス停マップ



浦城港バス停のすぐそば!

◆日豊汽船株式会社 高速艇・カーフェリー乗場



高速艇は約10分、フェリーは約20分で浦城港と島野浦島を繋ぎ、島民の生活には欠かせない航路。島野浦側は高速艇とカーフェリーで着岸する港が異なるので行き先や目的などで使い分けましょう。

住 延岡市浦城町5番地 電 0982-43-0102
料金例 大人 高速艇470円 フェリー420円(片道) 小人 高速艇240円 フェリー210円

おすすめ アクティビティ 体験

遠見場山に点在する絶景ポイントからは島ならではの大自然を一望する事ができ、山の尾根づたいには、約100mの間隔で三十三体にあふ石造りの観音像が安置されています



観音巡り&トレッキング・魚釣り・島周遊クルージング、シーカヤックなど島野浦島ならではのアクティビティ・体験メニューが充実!



海釣り



絶景!クルージング



磯遊び



トレッキング



シーカヤック

シーカヤックによってゆったり島の景色を楽しめます!穏やかな入り江なので初心者も気軽に体験!

特典
ご利用時の
注意点

・ガイドブックを持って来店したお客様1名のみ特典を受けられます。
・特典を受けることができるのは1店舗につき1回です。
・他の割引サービス等との併用はできません。

特典利用期限
2020年10月31日まで

Course 2 宮野浦線コース

所要時間 約6時間
バス運賃 往復 500円
(ワンコインバスを使用の場合)

香には梅並木と
北浦の港が一望できる
尻浦展望台も見どころ



延岡駅

10:54 発

11:46 着

本村

徒歩
10分



◆あじ屋



新鮮な地魚を使用した海鮮串カツ専門店。注文を受けてから揚げるので出来たて熱々を楽しめます。また、海の幸にぴったりの様々なソースやスパイスを開発し、店内や道の駅等でも販売しています。中でも地元の大学とコラボレーションして誕生したチキンシーズニングは、魚介類だけでなく肉類に漬け込むだけで料理人が調理したかのような深い味わいに仕上げしてくれる万能調味料で、自宅に購入するだけでなくお土産としても人気を集めています。



住 延岡市北浦町古江2429 電 0982-45-3050
営 土日祝10:00~17:30 休 なし
平日10:00~18:30

お買上げのお会計から10%オフ

コース外 近隣おすすめ スポット



下阿蘇

道の駅北浦・レストラン海鮮館



九州No.1の下阿蘇ビーチ!

目の前には環境省が定める「快水浴場百選 特選」に選定された美しいビーチが広がり南国ムード満点。北浦エリアで穫れる牡蠣や扇貝などの海の幸、干物やあげみ&すりみなどの水産加工品、塩田で仕込んだオリジナルの「北浦 月の塩」や「メレンゲ」「塩ソフト」などのスイーツが充実した物産館です。



道の駅北浦の「月の塩」使用塩ソフト

住 延岡市北浦町古江3337-1 電 0982-45-3811
営 9:00~18:00/レストラン 11:00~20:00(L.O. 19:00)
休 年中無休(年末年始は除く)

◆潮香ノ宿 高平屋



全3室のみの隠れ家のお宿。山の絶壁に佇み、客室からは北浦湾と港町の風景を一望できます。目の前の海から水揚げされた新鮮な魚介類をはじめ、店主が自ら足を運び厳選した食材を使用したおまかせ料理と木のぬくもりを大切にされた客室で、特別な時間を過ごしてみたいいかが?食事だけの予約も可能です。

住 延岡市北浦町古江字鶴山2927-1 電 0982-45-3191
営 12:00~14:00/18:30~21:00 休 不定休 ※完全予約制



お食事の方に本日の一品料理サービス

◆爽快!うみウラクルージング



エサやり体験(エサ代別途300円)や操船体験(無料)ができるので、お子様連れにもオススメです。

沖合にある島野浦島、高島などの島々を、楽しいガイド付きでクルージングします。巨大な岩のアーチ「千貫目(せんがんめ)」をくぐるなど、壮大な海原で爽快感あふれる体験が堪能できます。

料金例 湾内コース
大人(中学生以上):2000円、小人:1500円、幼児:無料

問 北浦臨海パーク観光案内所
電 0982-24-5280
住 延岡市北浦町古江2501-60
営 受付時間 10:00~14:00
休 年末年始
※当日受付可
※団体の申込みは事前予約



古江

14:16 発

延岡駅

14:57 着

バス停マップ



特定の時間には延岡出身の上杉忠弘さんのイラストがラッピングされたバスが走ります!





延岡駅発着おすすめモデルコース

Course 3 祝子川温泉線コース [平日のみ運行]

所要時間 約6時間
バス運賃 往復1,000円



近くにあるダムに因んだ「祝子ダムカレー」。トッピングが豪華でダムファンも足を運ぶそう!



祖母領国定公園の名峰「大崩山」の麓にある天然温泉施設。館内のレストランでは、地元で採れる山菜や野菜、ジビエを使用したヘルシーでボリュームたっぷりのメニューが提供されます。大自然のエネルギーを体の中に充電して、いざ散策に出発!

住 延岡市北川町川内名10358-10 電 0982-23-3080
営 10:00~20:00 (月~水18時まで、祝・祝前日は20時まで)
休 木曜日(祝日の場合は営業)

「美人の湯」 祝子川温泉

延岡駅 12:00 発
祝子川温泉 13:11 着

徒歩0分

「神さん山」

徒歩20分

「祝子川渓谷」

徒歩

徒歩

「祝子川温泉 美人の湯」

その入浴

祝子川温泉 17:05 発

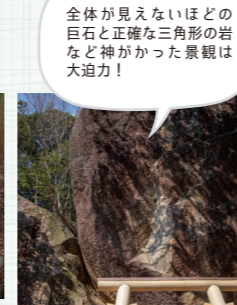
延岡駅 18:15 着



まよに神業!
車幅ギリギリの道路を
進んでいきます。



スニーカーなど
歩きやすい
靴がおすすめ!



全体が見えないほどの
巨石と正確な三角形の岩
など神がかった景観は
大迫力!

祝子川温泉から800m程進み、240段の石段をのぼりきると、巨岩が目前に現れます。高さ24メートルと15メートルの巨岩が支え合って岩屋を形成し、その隙間に約2メートルの真三角の岩が鎮座している不思議な光景から、祝子川で幼少期を過ごした、山幸彦ことホオリノミコトの岩屋ではないかと伝えられています。大迫力の景観と、その神秘的な風情からパワースポットとして注目されています。



お肌がすべすべに
なったかも!

露天・室内風呂ともに雄大な大自然を一望しながらのんびりリラックス。主要成分は、ナトリウムイオン、炭酸水素イオンの重曹泉で、肌の脂肪分を分解して汚れを落とし、肌をすべすべに整える効果が高いことから、「美人の湯」として親しまれています。リュウマチ・神経痛に効能があるとされています。

入浴料 大人520円、子ども(小学生)310円、小学生未満 無料



バス停マップ

周辺一帯で
四季折々の風景が
楽しめます!
祝子川
祝子川温泉
美人の湯
キャンプ場
神さん山

特典
ご利用時の
注意点

・ガイドブックを持って来店したお客様1名のみ特典を受けられます。
・特典を受けることができるのは1店舗につき1回です。
・他の割引サービス等との併用はできません。

特典利用期限
2020年10月31日まで

Course 4 行藤山登山口線コース [平日・土の場合]

所要時間 約3時間
バス運賃 平日 往復1,320円
土曜 往復500円(ワンコインバスを使用の場合)



道中にある
「舞野神社」周辺の田んぼは
香になると
菜の花畑へと姿を変えらる



世界のコンテストで数々の賞を
受賞している、世界クラスの
ブルワリー!

のべおか
三蔵

上質な天然水を仕込み水に使い、高品質なビールと宮崎の農産物を使った発泡酒を醸造、国内外で人気を集めているクラフトビール工房。全国でも稀な「完全自家培養酵母仕込み」により味わい深くキレが良いのが特徴。近年は宮崎産の大麦栽培や麦芽造り、ホップ栽培等にも取り組み、オール宮崎のビール造りにもチャレンジしています。国内地ビール2大コンテストにおいてW金賞受賞のフラッグシップである「太陽のラガー」をはじめ国内外の世界的コンテストでの受賞歴も多数。高い評価を受けています。

ワールド・
ビア・アワード2019にて
世界一受賞!
(ワールドベスト・スタウト&ポーター)



英国で毎年一度開催されるビールの世界的コンペティション。2017年は世界中より1900品がエントリー。「71のスタイル」と「大分類8カテゴリー」に分けられたビールの審査方法はすべてブラインドテイasting! その中で「栗黒」は「スタイル別世界一」「カテゴリー別世界一」においてみごとW受賞を果たしました。

住 延岡市行藤町747-58
電 0982-39-0090
営 10:00~17:00
休 土・日曜日(団体様工場見学応相談)

のべおか三蔵とは

市内に四本の一級河川が流れる「水郷延岡」に、焼酎、日本酒、地ビールといったジャンルの異なる三つの酒蔵が、独自の味を求めて地域に根付いています。これを地元では総称して「三蔵」と呼び親しんでいます。

延岡駅 13:30 発

行藤山登山口 13:58 着

徒歩2分

行藤神社

徒歩10分



特徴的な狛犬、御神木などのシンボルが多く点在するパワースポット!

行藤山の登山道入口にあり、およそ1,300年の歴史を持つ神社。旧延岡藩主から寄贈された県指定文化財「鉄鑿口」が所蔵されており、代々の藩主の信仰を集め、手厚く守られてきました。神社入口から100mほど続く杉林に囲まれた参道を歩いていくと、玉砂利の敷かれた美しい境内が見えてきます。境内には宮崎県の巨樹百選にも選ばれているバクチノキなど、ご利益がありそうな見どころが多数存在します。

社殿の前には、まるで犬のような、猿のような、とても奇妙な狛犬が座っています。その愛らしい表情から、参拝者から写真を撮られる人気者になっています。

行藤山は、雄岳(おだけ)、雌岳(めだけ)からなる標高831mの山で、岩肌が露出した雄々しい姿が特徴です。山の名前は、ヤマトタケルノミコトがその名付け親で狩猟をする際に足にまく防具「行藤」に姿が似ていたため名付けたと伝えられています。両岳の間に流れる「行藤の滝」は落差77mで「日本の滝百選」にも選ばれた名瀑で、行藤神社入口から続く登山道を約1時間登れば、滝のすぐそばまで行くことができます。

行藤山登山口 16:10 発

延岡駅 16:38 着

延岡駅



バス停マップ

行藤神社
行藤山登山口
宮崎ひでじビール
至市街地
行藤青少年自然の家



道中には
雄大な行藤山を
見送せるポイントが
あります。

コース外
近隣おすすめ
スポット

佐藤焼酎製造場株式会社



延岡の美しい自然、農産物、歴史と文化が調和し、人が深く関わりあい、豊かに生きる潤いの場を形づくる「自創自園」をコンセプトに、創立から100年を超える今も進化をつづけている焼酎の蔵元です。ミュージアムのように洗練されたデザインの蔵や、地元出身のアーティストが描いた作品をラベルに使用するなど芸術的センスが要所に感じられます。

住 延岡市祝子町2388-1 電 0982-33-2811
工場見学は要予約

のべおか
三蔵



延岡駅発着おすすめモデルコース

Course 5 外浦線コース [土・日・祝の場合]

所要時間 約4時間
バス運賃 往復 500円
(ワンコインバスを使用の場合)

延岡駅

10:45 発

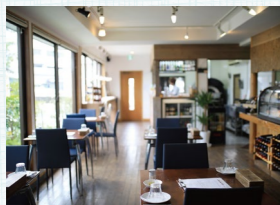
11:19 着

土々呂4丁目

KANAYA



2016年秋に店舗を拡大してリニューアルオープン。遊び心あふれる料理と個性的な空間演出でリピーターを魅了し続けているイタリアンレストラン。数あるメニューの中でも店主のおすすめは、店舗が位置する土々呂町の名産「釜揚げちりめん」と上質なオリーブオイルをふんだんに使用した「土々呂ピッツァ」! 海の香りとチーズの風味、バジルの爽やかな香りが絶妙なコンビネーションをお楽しみ下さい。



住 延岡市土々呂町6-1734-1
電 0982-37-3911
営 11:30~15:00 / 17:30~22:00
休 月曜日(月1回火曜に店休)

特典
お食事の方に
ソフトドリンクを
1杯サービス



徒歩
10分

齋藤精肉店



味と鮮度にこだわり厳選した上質な肉を取り揃える精肉店。中でも平成元年から初代の店主「齋藤寛」さんが製造を始めたハムやソーセージなどのオリジナル商品「ひろし燻(くん)」が人気。原材料の豚肉は清潔感のある環境の中、独自の飼料で育てられた旨味のあるものを使用しています。贈答用の詰め合わせセットもあり、地方発送も可能です。

住 延岡市土々呂町4丁目4147
電 0982-37-0131
営 9:00~18:00 休 日曜日

特典
お買い物の方に
ひろし燻シリーズを
1つプレゼント



徒歩
0分

棧橋商店街

14:24 発

延岡駅

14:55 着

バス停マップ



コース外
近隣おすすめ
スポット

延岡市有形文化財 日高家住宅(ぶり御殿)



日高家住宅は、「日高式大敷網」の発明で大成功をおさめた網元・日高亀市翁によって、明治29年に建てられ、その後、大正3年に増築され、現況に近い規模になりました。地元の人から「ぶり御殿」の愛称で親しまれ、延岡市の建築物では初の「延岡市有形文化財」に指定されています。

Course 6 熊田線コース [土・日・祝の場合]

所要時間 約2時間
バス運賃 往復 500円
(ワンコインバスを使用の場合)

延岡駅

15:00 発

俵野

15:17 着

徒歩
15分

軍議の様子を再現した
展示は緊迫した臨場感
がたどっている!



「和田越の決戦」に大敗を喫した西郷軍が、北川に逃れた際に立ち寄ったゆかりの家を資料館として使用。西郷隆盛愛用の遺品や戦争資料が展示されています。



西郷は軍の解散を決意し、この邸宅の庭で、日本に一着しかない陸軍大将の軍服と戦死者の名簿などの重要な書類を焼いたと言われていました。資料館入り口にはその軍服のレプリカも飾られています。西郷隆盛の体の大きさが一目瞭然ですよ!



軍服のレプリカ



住 延岡市北川町長井6727 電 0982-46-2960
営 9:00~17:00 料 入館無料
休 年末年始(12月28日~1月3日)

西郷隆盛宿陣跡資料館

俵野

16:39 発

徒歩
15分

天孫ニニギノミコトの 北川陵墓参考地



「北川陵墓参考地」として宮内庁から治定されている特別な場所。可愛岳のふもとに位置しているこの場所は、天孫ニニギノミコトの終焉地として古くから伝えられ、西南戦争の折、西郷隆盛もその伝承を知っており政府軍が天皇家の祖先神の御陵墓に向けて銃や大砲を撃つことが出来ないと考えて宿陣し、安息を得たとされています。周囲を柵と木の扉で閉ざされており、遠めからのみ、その姿を眺めることができますが、春になると周囲を美しい桜の花が彩り、華やかな雰囲気に包まれます。

西南戦争 最後の舞台をめぐる!



中央の山が可愛岳。夜陰にまされ総勢600人程の西郷隆盛率いる薩軍は村人を道案内に官軍が包囲する可愛岳の山頂を目指しました。これより西郷軍は鹿児島までの帰路についたので。

観光ガイドはいかがですか?



西郷隆盛宿陣跡資料館や北川陵墓参考地、西郷菊次郎療養の地を巡るだけでなく、北川町俵野地区で西郷が何を思ったか、西郷を囲む人々が何を感じたかなど、パンフレットやガイドブックでは伝えきれないスポットや秘話を、有料ガイドならではの視点でご案内いたします。

基本コース
90分 2,500円~/ (ガイド1名)
限定冊子(非売品)付き!
軍の配置図や写真付きの詳しい解説書
☎ 0982-29-2155 (延岡観光協会)



豆知識



バス停マップ

16:55 着

延岡駅

おすすめ
バス情報

快適装備でラクラクの高速バス



高速バス乗車券の予約およびお問い合わせ先
宮崎交通高速バス予約センター ☎0985-32-1000 (8:00~18:00)



インターネットでの
予約も可能です
WEB割もあります!



1-day pass for unlimited travel on public buses for foreign visitors

VISIT MIYAZAKI BUS PASS

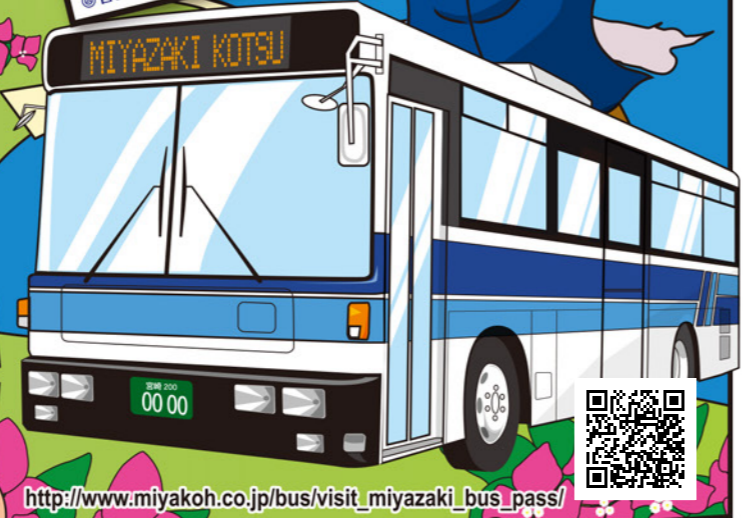
1 Pass = 1,500 yen

Miyazaki Prefecture is so close!

- Seoul ⇄ Miyazaki approx. 100 min.
- HongKong ⇄ Miyazaki approx. 200 min.
- Taipei ⇄ Miyazaki approx. 120 min.
- Osaka ⇄ Miyazaki approx. 60 min.
- Fukuoka ⇄ Miyazaki approx. 45 min.
- Tokyo (Haneda) ⇄ Miyazaki approx. 90 min.
- Nagoya ⇄ Miyazaki approx. 70 min.



MAP OF MIYAZAKI PREFECTURE



http://www.miyakoh.co.jp/bus/visit_miyazaki_bus_pass/

Free sight seeing app is now available for visitors!!

DIG JAPAN!

App for strategic travel planning in Miyazaki!

- ① Complete up-to-date information matching the season and area for a real "Miyazaki experience."
- ② Smooth-running downloadable app that works both online and offline.
- ③ Search → Go → Enjoy!! Worry-free excitement in one application.

Download on the App Store | Get it on Google play

<http://www.mapple.co.jp/digjapan/jp/>

Enjoy Miyazaki with a bus tour!

Sightseeing Bus

Fee: 5,000 yen per adult (lunch included)

Enquiry: +81-985-52-7111
(OPEN) 9:00a.m.~7:00p.m.
<http://www.miyakoh.co.jp/bus/kashikiri/teiki.html>

Luggage-free tour service

Explore Miyazaki directly from the airport without luggage!

Location: Miyazaki Bougainvillea Airport

Services include

- ① Luggage-free tour
Your luggage will be delivered to your hotel!
- ② Temporary luggage storage
One-day luggage storage available!
- ③ Wi-Fi Rental
Wi-Fi rental service available at the airport!

http://www.miyazaki-airport.co.jp/smooth_sightseeing/

まちなか循環バス ペーパークラフト

しろやま号 (外回り線)



- 凡例
- 切り取り
 - 切り込み・さしこみ口
 - ◀ 差し込み
 - ◻ のりしろ

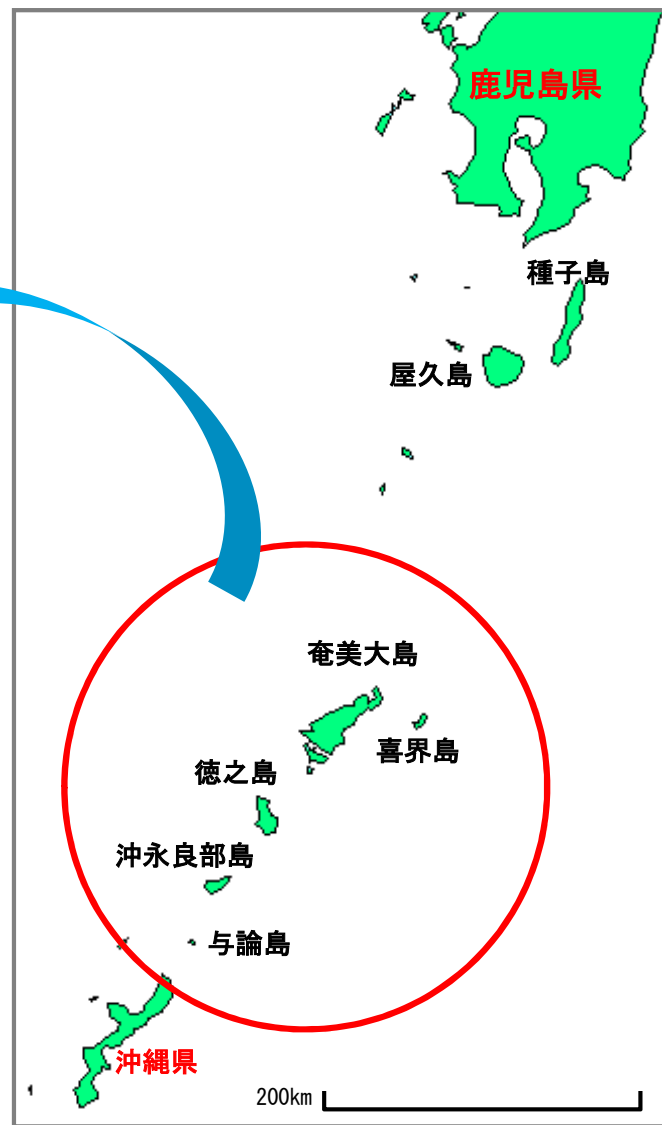
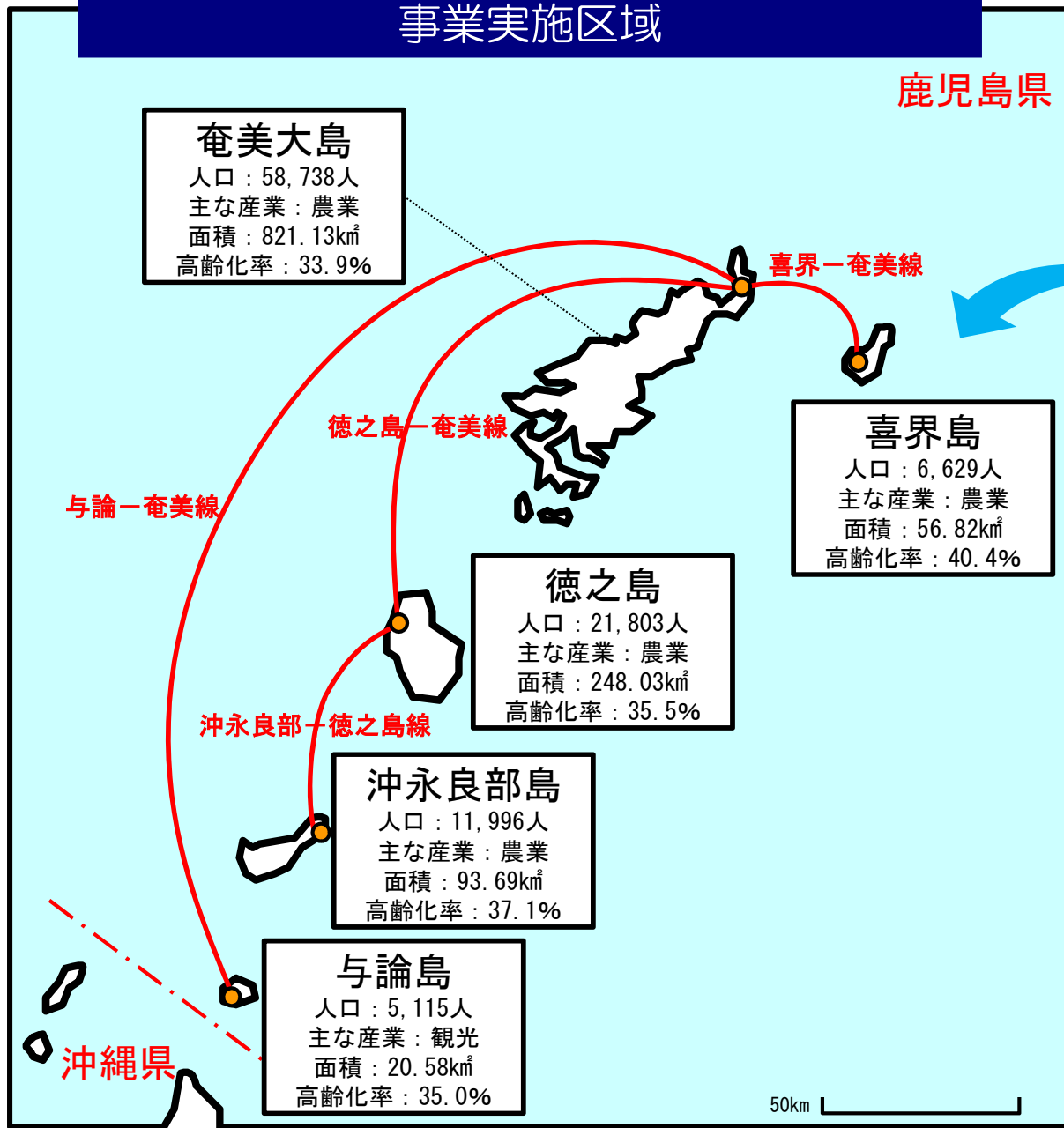
作って遊ぼう!
まちなか循環バス!

チキナン番長
ハケミヤカッターを使う時は気をつけるッス!

乗って残そう!
みんなのバス!
バスに乗るッス!

切りとって折り曲げてバスの上にはめ込む

事業実施区域



令和3年12月17日

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 鹿児島県奄美地域離島航空路線協議会

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(離島航空路運航費補助)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日本エアコミューター(株)	喜界-奄美線 人及び物資を運搬するため、喜界～奄美間を1日3往復運航。	引き続き路線の維持確保に必要な取組を実施している。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ①運航便数は1日3往復(ATR42-600(48人乗)),令和3年4月から同年10月までの就航率は91.0%であった。 ②収支率の目標が76%(H29～R1年度平均)に対して,新型コロナウイルスの影響もあり,令和3年4月から同年9月までは41%であった。	島の過疎,高齢化等に加えて,新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で,当該航空路線を引き続き維持するために,きめ細やかな事業運営や業務の効率化,コスト削減等に努める。
	徳之島-奄美線 人及び物資を運搬するため、徳之島～奄美間を1日2往復運航。	引き続き路線の維持確保に必要な取組を実施している。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ①運航便数は1日2往復(ATR42-600(48人乗)),令和3年4月から同年10月までの就航率は93.0%であった。 ②収支率の目標が84%(H29～R1年度平均)に対して,新型コロナウイルスの影響もあり,令和3年4月から同年9月までは46%であった。	島の過疎,高齢化等に加えて,新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で,当該航空路線を引き続き維持するために,きめ細やかな事業運営や業務の効率化,コスト削減等に努める。
	沖永良部-徳之島線 人及び物資を運搬するため、沖永良部～徳之島を1日1往復運航。	引き続き路線の維持確保に必要な取組を実施している。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ①運航便数は1日1往復(ATR42-600(48人乗)),令和3年4月から同年10月までの就航率は96.0%であった。 ②収支率の目標が65%(H30～R1年度平均)に対して,新型コロナウイルスの影響もあり,令和3年4月から同年9月までは34%であった。	島の過疎,高齢化等に加えて,新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で,当該航空路線を引き続き維持するために,きめ細やかな事業運営や業務の効率化,コスト削減等に努める。
	与論-奄美線 人及び物資を運搬するため、与論～奄美を1日1往復運航。	引き続き路線の維持確保に必要な取組を実施している。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ①運航便数は1日1往復(ATR42-600(48人乗)),令和3年4月から同年10月までの就航率は94.2%であった。 ②収支率の目標が53%(H29～R1年度平均)に対して,新型コロナウイルスの影響もあり,令和3年4月から同年9月までは28%であった。	島の過疎,高齢化等に加えて,新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で,当該航空路線を引き続き維持するために,きめ細やかな事業運営や業務の効率化,コスト削減等に努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年12月17日

協議会名：	鹿児島県奄美地域離島航空路線協議会
評価対象事業名：	地域公共交通確保維持改善事業(離島航空路運航費補助)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>奄美群島は、奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町の12市町村から成っており、人口は10万4,281人(令和2年国勢調査)で、鹿児島県人口の6.6%を占めている。奄美群島は、本土から航路距離で377km～592km離れた外海離島で南北約220kmの海域に広く点在しているため、物価や人及びモノの移動に係る経費、リサイクルに係る搬出経費、高等教育に要する費用等の本土との格差の大きな要因となっている。</p> <p>奄美群島内の航空ネットワークは、①本土の鹿児島空港と奄美群島各島を発着する路線と、②奄美群島から県外への路線、③奄美大島にある奄美空港を中心とした離島間路線があり、それぞれ人及び物資を運搬する生活路線、並びに観光客の利用する交通手段として重要な役割を果たしている。</p> <p>① 鹿児島ー奄美(10)、喜界(2)、徳之島(4)、沖永良部(3)、与論(1) ② 奄美ー羽田(1)、成田(1)、伊丹(1)、関西(1)、福岡(1)、那覇(1)、沖永良部ー沖縄(1)、与論ー那覇(1) ③ 奄美ー喜界(3)、徳之島(2)、与論(1)、沖永良部ー徳之島(1) ()内は往復便数、令和3年冬ダイヤ現在</p> <p>上記のうち、特に③離島間路線については、運航距離が短い路線であることや、島の人口減少及び少子高齢化に伴い需要が少ない路線であることから、一部路線が運航費補助対象路線となっているなど、採算面で課題を抱えている。</p> <p>外海離島である奄美群島にとって、離島航空路の確保維持が主たる目的であり、人口減少及び少子高齢化に伴う利用者の減少が予想される中、交通弱者対策を含め島民や島外住民の利用促進を図り、島民の生活路線を継続的に確保していく必要がある。</p>

補助対象事業者名

日本エアコミューター（株）

航空路名

喜界～奄美路線

事業の概要

● 喜界～奄美路線の通年運航

【運航状況】 3往復/日

【使用機材】 ATR42-600(48人乗)

【利用者数】 R2年度 30,096人(R1年度 45,922人)

*R3冬ダイヤ

喜界	奄美	奄美	喜界
発時刻	着時刻	発時刻	着時刻
10:45	11:05	9:55	10:15
12:30	12:50	11:40	12:00
16:50	17:10	16:00	16:20

機種	登録番号	登録年月日	座席数	種別
ATR42-600	JA01JC	H29.1.20	48	プロペラ
〃	JA02JC	H29.9.22	〃	〃
〃	JA03JC	H30.1.30	〃	〃
〃	JA04JC	H30.3.29	〃	〃
〃	JA05JC	H30.6.29	〃	〃
〃	JA07JC	H31.1.23	〃	〃
〃	JA09JC	R1.12.11	〃	〃

経緯・現況

【経緯】 S58.12.10 喜界～奄美路線開設

【現況】

- ・喜界島と奄美大島を結ぶ唯一の航空路線（20分）
- ・代替交通機関（船舶） 喜界～奄美（2時間10分）
- ・自治体負担額 R2年度 35,449千円(R1年度 33,981千円)

計画・目標(Plan)

喜界～奄美路線は、喜界島と奄美大島を結ぶ生活路線及び観光客の利用する交通手段として、重要な役割を果たしていることから、路線の維持を図る必要がある。

計画等への取組み(Do)

離島航空路線確保維持計画に基づき、路線の維持・存続を図った。

効果、達成状況(Check)

喜界～奄美路線を存続させ、島民の移動手段を確保するとともに、運航者の費用負担を減少させることにより、当該路線の維持を図ることができた。

- ① 運航便数は目標の1日3往復(ATR42-600(48人乗)), 令和3年4月～同年10月までの就航率は91.0%であった。
- ② 収支率の目標が76%(H29～R1年度平均)に対して、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年4月～同年9月までは41%であった。

今後の課題、改善点(Action)

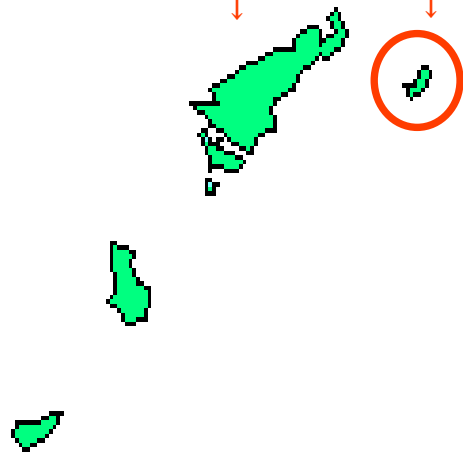
島の過疎、高齢化等に加えて、新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で、当該航空路線を引き続き維持するために、きめ細やかな事業運営や業務の効率化、コスト削減等に努める。

○ATR42-600型機(48人乗り)



奄美大島

喜界島



奄美大島

人口 : 58,738人
主な産業 : 農業
面積 : 821.13km²
高齢化率 : 33.9%

喜界島

人口 : 6,629人
主な産業 : 農業
面積 : 56.82km²
高齢化率 : 40.4%



※人口及び高齢化率はR2国勢調査



奄美空港

設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 2,000m × 45m
供用開始 : S39.6.1
運用時間 : 8:00~19:30



喜界空港

設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 1,200m × 30m
供用開始 : S34.8.10
運用時間 : 8:30~17:30(18:30)

補助対象事業者名

日本エアコミューター（株）

航空路名

徳之島～奄美路線

事業の概要

● 徳之島～奄美路線の通年運航

【運航状況】 2往復/日

【使用機材】 ATR42-600(48人乗)

【利用者数】 R2年度 27,116人(R1年度 41,402人)

* R3冬ダイヤ

徳之島 発時刻	奄美 着時刻	奄美 発時刻	徳之島 着時刻
9:15	9:45	10:25	10:55
16:50	17:20	18:00	18:30

機 種	登録番号	登録年月日	座席数	種 別
ATR42-600	JA01JC	H29.1.20	48	プロペラ
〃	JA02JC	H29.9.22	〃	〃
〃	JA03JC	H30.1.30	〃	〃
〃	JA04JC	H30.3.29	〃	〃
〃	JA05JC	H30.6.29	〃	〃
〃	JA07JC	H31.1.23	〃	〃
〃	JA09JC	R1.12.11	〃	〃

経緯・現況

【経緯】 S58.12.10 徳之島～奄美路線開設

【現況】

- ・徳之島と奄美大島を結ぶ唯一の航空路線（30分）
- ・代替交通機関（船舶） 徳之島～奄美（3時間20分）
- ・自治体負担額 R2年度 6,643千円(R1年度 4,040千円)

計画・目標(Plan)

徳之島～奄美路線は、徳之島と奄美大島を結ぶ生活路線及び観光客の利用する交通手段として、重要な役割を果たしていることから、路線の維持を図る必要がある。

計画等への取組み(Do)

離島航空路線確保維持計画に基づき、路線の維持・存続を図った。

効果,達成状況(Check)

徳之島～奄美路線を存続させ、島民の移動手段を確保するとともに、運航者の費用負担を減少させることにより、当該路線の維持を図ることができた。

- ① 運航便数は1日2往復(ATR42-600(48人乗)), 令和3年4月～同年10月までの就航率は93.0%であった。
- ② 収支率の目標が84%(H29～R1年度平均)に対して、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年4月～同年9月までは46%であった。

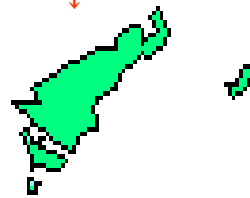
今後の課題,改善点(Action)

島の過疎,高齢化等に加えて、新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で、当該航空路線を引き続き維持するために、きめ細やかな事業運営や業務の効率化,コスト削減等に努める。

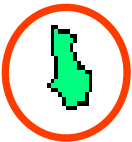
○ATR42-600型機(48人乗り)



奄美大島



徳之島→



50km

徳之島

人口 : 21,803人
主な産業 : 農業
面積 : 248.03km²
高齢化率 : 35.5%



奄美大島

人口 : 58,738人
主な産業 : 農業
面積 : 821.13km²
高齢化率 : 33.9%



※人口及び高齢化率はR2国勢調査



奄美空港

設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 2,000m × 45m
供用開始 : S39.6.1
運用時間 : 8:00 ~ 19:30



徳之島空港

設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 2,000m × 45m
供用開始 : S37.2.23
運用時間 : 8:30 ~ 19:30

補助対象事業者名

日本エアコミューター（株）

航空路名

沖永良部～徳之島線

事業の概要

● 沖永良部～徳之島路線の通年運航

【運航状況】 1往復/日

【使用機材】 ATR42-600(48人乗)

【利用者数】 R2年度 12,415人 (R1年度 18,496人)

*R3冬ダイヤ

沖永良部	徳之島	奄美	奄美	徳之島	沖永良部
発時刻	(経由)	着時刻	発時刻	(経由)	着時刻
15:50	16:20	17:20	10:25	10:55	11:55

機種	登録番号	登録年月日	座席数	種別
ATR42-600	JA01JC	H29.1.20	48	プロペラ
〃	JA02JC	H29.9.22	〃	〃
〃	JA03JC	H30.1.30	〃	〃
〃	JA04JC	H30.3.29	〃	〃
〃	JA05JC	H30.6.29	〃	〃
〃	JA07JC	H31.1.23	〃	〃
〃	JA09JC	R1.12.11	〃	〃

経緯・現況

【経緯】 H30.7.1 沖永良部～(徳之島経由)～奄美路線開設

【現況】

- ・沖永良部と奄美大島を徳之島を経由して結ぶ唯一の航空路線(1時間30分)
- ・代替交通機関(船舶)沖永良部～(徳之島)～奄美大島(5時間10分)
- ・自治体負担額 R2年度 12,101千円 (R1年度 16,790千円)

計画・目標(Plan)

沖永良部～徳之島路線は、沖永良部島と奄美大島を徳之島を経由して結ぶ生活路線及び観光客の利用する交通手段として、重要な役割を果たしていることから、路線の維持を図る必要がある。

計画等への取組み(Do)

離島航空路線確保維持計画に基づき、路線の維持・存続を図った。

効果、達成状況(Check)

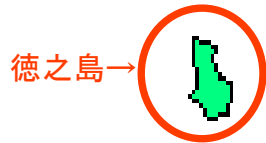
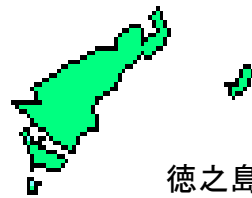
沖永良部～徳之島路線を存続させ、両島の島民の移動手段を確保するとともに、運航者の費用負担を減少させることにより、当該路線の維持を図ることができた。

- ① 運航便数は1日1往復(ATR42-600(48人乗))、令和3年4月～同年10月までの就航率は96.0%であった。
- ② 収支率の目標が65%(H30～R1年度平均)に対して、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年4月～同年9月までは34%であった。

今後の課題、改善点(Action)

島の過疎、高齢化等に加えて、新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で、当該航空路線を引き続き維持するために、きめ細やかな事業運営や業務の効率化、コスト削減等に努める。

○ATR42-600型機(48人乗り)



徳之島
人 口 : 21,803人
主な産業 : 農業
面 積 : 248.03km²
高齢化率 : 35.5%



←沖永良部島

50km

沖永良部島
人 口 : 11,996人
主な産業 : 農業
面 積 : 93.69km²
高齢化率 : 37.1%



※人口及び高齢化率はR2国勢調査



沖永良部空港
設置管理者: 鹿児島県
滑走路 : 1,350m × 45m
供用開始 : S44.5.1
運用時間 : 8:30~17:30(18:30)



徳之島空港
設置管理者: 鹿児島県
滑走路 : 2,000m × 45m
供用開始 : S37.2.23
運用時間 : 8:30~19:30

補助対象事業者名

日本エアコミューター（株）

航空路名

与論～奄美線

事業の概要

● 与論～奄美線の通年運航

【運航状況】 1往復/日

【使用機材】 ATR42-600(48人乗)

【利用者数】 R2年度 6,168人(R1年度 9,233人)

*R3冬ダイヤ

与論	奄美	奄美	与論
発時刻	着時刻	発時刻	着時刻
14:50	15:30	13:40	14:20

機種	登録番号	登録年月日	座席数	種別
ATR42-600	JA01JC	H29.1.20	48	プロペラ
〃	JA02JC	H29.9.22	〃	〃
〃	JA03JC	H30.1.30	〃	〃
〃	JA04JC	H30.3.29	〃	〃
〃	JA05JC	H30.6.29	〃	〃
〃	JA07JC	H31.1.23	〃	〃
〃	JA09JC	R1.12.11	〃	〃

経緯・現況

【経緯】 S58.12.10 与論～奄美路線開設

【現況】

- ・与論と奄美を結ぶ唯一の航空路線（40分）
- ・代替交通機関（船舶） 与論～奄美（8時間10分）
- ・自治体負担額 R2年度 40,581千円（R1年度 42,945千円）

計画・目標(Plan)

与論～奄美路線は、与論島と奄美大島を結ぶ生活路線及び観光客の利用する交通手段として、重要な役割を果たしていることから、路線の維持を図る必要がある。

計画等への取組み(Do)

離島航空路線確保維持計画に基づき、路線の維持・存続を図った。

効果、達成状況(Check)

与論～奄美路線を存続させ、島民の移動手段を確保するとともに、運航者の費用負担を減少させることにより、当該路線の維持を図ることができた。

- ① 運航便数は1日1往復(ATR42-600(48人乗))、令和3年4月～同年10月までの就航率は94.2%であった。
- ② 収支率の目標が53%(H29～R1年度平均)に対して、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年4月～同年9月までは28%であった。

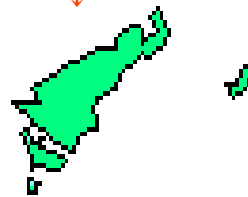
今後の課題、改善点(Action)

島の過疎、高齢化等に加えて、新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で、当該航空路線を引き続き維持するために、きめ細やかな事業運営や業務の効率化、コスト削減等に努める。

○ATR42-600型機(48人乗り)

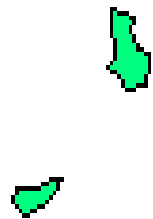


奄美大島



奄美大島

人口 : 58,738人
主な産業 : 農業
面積 : 821.13km²
高齢化率 : 33.9%



←与論島

50km

与論島

人口 : 5,115人
主な産業 : 観光
面積 : 20.58km²
高齢化率 : 35.0%



※人口及び高齢化率はR2国勢調査



奄美空港

設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 2,000m × 45m
供用開始 : S39.6.1
運用時間 : 8:00 ~ 19:30



与論空港

設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 1,200m × 30m
供用開始 : S51.5.1
運用時間 : 8:30 ~ 17:30 (18:30)

補助対象事業者名

日本エアコミューター（株）

航空路名

喜界～奄美路線

事業の概要

● 喜界～奄美路線の通年運航

【運航状況】 3往復/日

【使用機材】 ATR42-600(48人乗)

【利用者数】 R2年度 30,096人(R1年度 45,922人)

*R3冬ダイヤ

喜界 発時刻	奄美 着時刻	奄美 発時刻	喜界 着時刻
10:45	11:05	9:55	10:15
12:30	12:50	11:40	12:00
16:50	17:10	16:00	16:20

機 種	登録番号	登録年月日	座席数	種 別
ATR42-600	JA01JC	H29.1.20	48	プロペラ
〃	JA02JC	H29.9.22	〃	〃
〃	JA03JC	H30.1.30	〃	〃
〃	JA04JC	H30.3.29	〃	〃
〃	JA05JC	H30.6.29	〃	〃
〃	JA07JC	H31.1.23	〃	〃
〃	JA09JC	R1.12.11	〃	〃

経緯・現況

【経緯】 S58.12.10 喜界～奄美路線開設

【現況】

- ・喜界島と奄美大島を結ぶ唯一の航空路線（20分）
- ・代替交通機関（船舶） 喜界～奄美（2時間10分）
- ・自治体負担額 R2年度 35,449千円(R1年度 33,981千円)

計画・目標(Plan)

喜界～奄美路線は、喜界島と奄美大島を結ぶ生活路線及び観光客の利用する交通手段として、重要な役割を果たしていることから、路線の維持を図る必要がある。

計画等への取組み(Do)

離島航空路線確保維持計画に基づき、路線の維持・存続を図った。

効果、達成状況(Check)

喜界～奄美路線を存続させ、島民の移動手段を確保するとともに、運航者の費用負担を減少させることにより、当該路線の維持を図ることができた。

- ① 運航便数は目標の1日3往復(ATR42-600(48人乗))、令和3年4月～同年10月までの就航率は91.0%であった。
- ② 収支率の目標が76%(H29～R1年度平均)に対して、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年4月～同年9月までは41%であった。

今後の課題、改善点(Action)

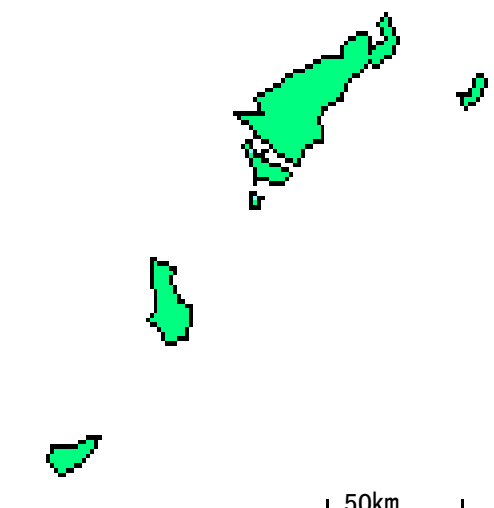
島の過疎、高齢化等に加えて、新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で、当該航空路線を引き続き維持するために、きめ細やかな事業運営や業務の効率化、コスト削減等に努める。

事業実施区域

○ATR42-600型機(48人乗り)



奄美大島
人口 : 58,738人
主な産業 : 農業
面積 : 821.13km²
高齢化率 : 33.9%



喜界島
人口 : 6,629人
主な産業 : 農業
面積 : 56.82km²
高齢化率 : 40.4%

※人口及び高齢化率はR2国勢調査



奄美空港
設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 2,000m × 45m
供用開始 : S39.6.1
運用時間 : 8:00 ~ 19:30



喜界空港
設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 1,200m × 30m
供用開始 : S34.8.10
運用時間 : 8:30 ~ 17:30 (18:30)

補助対象事業者名

日本エアコミューター（株）

航空路名

徳之島～奄美路線

事業の概要

● 徳之島～奄美路線の通年運航

【運航状況】 2往復/日

【使用機材】 ATR42-600(48人乗)

【利用者数】 R2年度 27,116人(R1年度 41,402人)

* R3冬ダイヤ

徳之島 発時刻	奄美 着時刻	奄美 発時刻	徳之島 着時刻
9:15	9:45	10:25	10:55
16:50	17:20	18:00	18:30

機 種	登録番号	登録年月日	座席数	種 別
ATR42-600	JA01JC	H29.1.20	48	プロペラ
〃	JA02JC	H29.9.22	〃	〃
〃	JA03JC	H30.1.30	〃	〃
〃	JA04JC	H30.3.29	〃	〃
〃	JA05JC	H30.6.29	〃	〃
〃	JA07JC	H31.1.23	〃	〃
〃	JA09JC	R1.12.11	〃	〃

経緯・現況

【経緯】 S58.12.10 徳之島～奄美路線開設

【現況】

- ・徳之島と奄美大島を結ぶ唯一の航空路線（30分）
- ・代替交通機関(船舶) 徳之島～奄美（3時間20分）
- ・自治体負担額 R2年度 6,643千円(R1年度 4,040千円)

計画・目標(Plan)

徳之島～奄美路線は、徳之島と奄美大島を結ぶ生活路線及び観光客の利用する交通手段として、重要な役割を果たしていることから、路線の維持を図る必要がある。

計画等への取組み(Do)

離島航空路線確保維持計画に基づき、路線の維持・存続を図った。

効果,達成状況(Check)

徳之島～奄美路線を存続させ、島民の移動手段を確保するとともに、運航者の費用負担を減少させることにより、当該路線の維持を図ることができた。

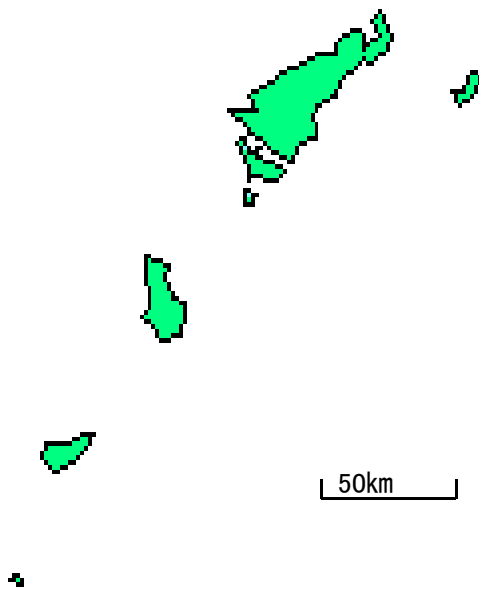
- ① 運航便数は1日2往復(ATR42-600(48人乗))、令和3年4月～同年10月までの就航率は93.0%であった。
- ② 収支率の目標が84%(H29～R1年度平均)に対して、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年4月～同年9月までは46%であった。

今後の課題,改善点(Action)

島の過疎、高齢化等に加えて、新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で、当該航空路線を引き続き維持するために、きめ細やかな事業運営や業務の効率化、コスト削減等に努める。

事業実施区域

○ATR42-600型機(48人乗り)



徳之島

人口 : 21,803人
主な産業 : 農業
面積 : 248.03km²
高齢化率 : 35.5%



奄美大島

人口 : 58,738人
主な産業 : 農業
面積 : 821.13km²
高齢化率 : 33.9%



※人口及び高齢化率はR2国勢調査



奄美空港

設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 2,000m × 45m
供用開始 : S39.6.1
運用時間 : 8:00 ~ 19:30



徳之島空港

設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 2,000m × 45m
供用開始 : S37.2.23
運用時間 : 8:30 ~ 19:30

補助対象事業者名

日本エアコミューター（株）

航空路名

沖永良部～徳之島線

事業の概要

● 沖永良部～徳之島路線の通年運航

【運航状況】 1往復/日

【使用機材】 ATR42-600(48人乗)

【利用者数】 R2年度 12,415人(R1年度 18,496人)

* R3冬ダイヤ

沖永良部 発時刻	徳之島 (経由)	奄美 着時刻	奄美 発時刻	徳之島 (経由)	沖永良部 着時刻
15:50	16:20	17:20	10:25	10:55	11:55

機 種	登録番号	登録年月日	座席数	種 別
ATR42-600	JA01JC	H29.1.20	48	プロペラ
〃	JA02JC	H29.9.22	〃	〃
〃	JA03JC	H30.1.30	〃	〃
〃	JA04JC	H30.3.29	〃	〃
〃	JA05JC	H30.6.29	〃	〃
〃	JA07JC	H31.1.23	〃	〃
〃	JA09JC	R1.12.11	〃	〃

経緯・現況

【経緯】 H30.7.1 沖永良部～(徳之島経由)～奄美路線開設

【現況】

- ・沖永良部と奄美大島を徳之島を経由して結ぶ唯一の航空路線(1時間30分)
- ・代替交通機関(船舶)沖永良部～(徳之島)～奄美大島(5時間10分)
- ・自治体負担額 R2年度 12,101千円(R1年度 16,790千円)

計画・目標(Plan)

沖永良部～徳之島路線は、沖永良部島と奄美大島を徳之島を経由して結ぶ生活路線及び観光客の利用する交通手段として、重要な役割を果たしていることから、路線の維持を図る必要がある。

計画等への取組み(Do)

離島航空路線確保維持計画に基づき、路線の維持・存続を図った。

効果、達成状況(Check)

沖永良部～徳之島路線を存続させ、両島の島民の移動手段を確保するとともに、運航者の費用負担を減少させることにより、当該路線の維持を図ることができた。

- ① 運航便数は1日1往復(ATR42-600(48人乗))、令和3年4月～同年10月までの就航率は96.0%であった。
- ② 収支率の目標が65%(H30～R1年度平均)に対して、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年4月～同年9月までは34%であった。

今後の課題、改善点(Action)

島の過疎、高齢化等に加えて、新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で、当該航空路線を引き続き維持するために、きめ細やかな事業運営や業務の効率化、コスト削減等に努める。

事業実施区域

○ATR42-600型機(48人乗り)



徳之島
人口 : 21,803人
主な産業 : 農業
面積 : 248.03km²
高齢化率 : 35.5%



沖永良部島
人口 : 11,996人
主な産業 : 農業
面積 : 93.69km²
高齢化率 : 37.1%



※人口及び高齢化率はR2国勢調査



沖永良部空港

設置管理者 : 鹿児島県

滑走路 : 1,350m × 45m

供用開始 : S44.5.1

運用時間 : 8:30~17:30(18:30)



徳之島空港

設置管理者 : 鹿児島県

滑走路 : 2,000m × 45m

供用開始 : S37.2.23

運用時間 : 8:30~19:30

補助対象事業者名

日本エアコミューター（株）

航空路名

与論～奄美線

事業の概要

● 与論～奄美線の通年運航

【運航状況】 1往復/日

【使用機材】 ATR42-600(48人乗)

【利用者数】 R2年度 6,168人(R1年度 9,233人)

*R3冬ダイヤ

与論	奄美	奄美	与論
発時刻	着時刻	発時刻	着時刻
14:50	15:30	13:40	14:20

機種	登録番号	登録年月日	座席数	種別
ATR42-600	JA01JC	H29.1.20	48	プロペラ
〃	JA02JC	H29.9.22	〃	〃
〃	JA03JC	H30.1.30	〃	〃
〃	JA04JC	H30.3.29	〃	〃
〃	JA05JC	H30.6.29	〃	〃
〃	JA07JC	H31.1.23	〃	〃
〃	JA09JC	R1.12.11	〃	〃

経緯・現況

【経緯】 S58.12.10 与論～奄美路線開設

【現況】

- ・与論と奄美を結ぶ唯一の航空路線（40分）
- ・代替交通機関(船舶) 与論～奄美（8時間10分）
- ・自治体負担額 R2年度 40,581千円（R1年度 42,945千円）

計画・目標(Plan)

与論～奄美路線は、与論島と奄美大島を結ぶ生活路線及び観光客の利用する交通手段として、重要な役割を果たしていることから、路線の維持を図る必要がある。

計画等への取組み(Do)

離島航空路線確保維持計画に基づき、路線の維持・存続を図った。

効果、達成状況(Check)

与論～奄美路線を存続させ、島民の移動手段を確保するとともに、運航者の費用負担を減少させることにより、当該路線の維持を図ることができた。

- ① 運航便数は1日1往復(ATR42-600(48人乗))、令和3年4月～同年10月までの就航率は94.2%であった。
- ② 収支率の目標が53%(H29～R1年度平均)に対して、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年4月～同年9月までは28%であった。

今後の課題、改善点(Action)

島の過疎、高齢化等に加えて、新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で、当該航空路線を引き続き維持するために、きめ細やかな事業運営や業務の効率化、コスト削減等に努める。

事業実施区域

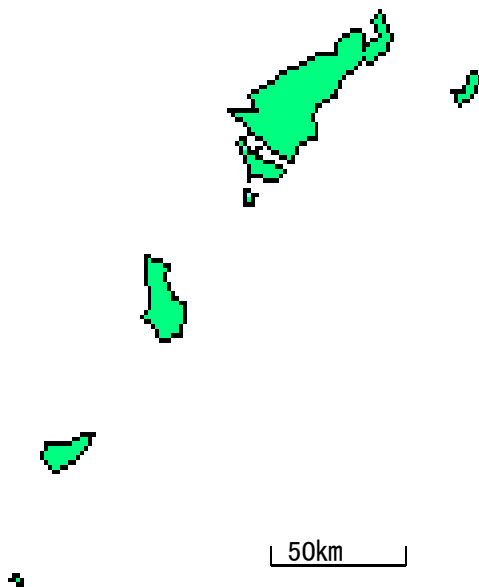
○ATR42-600型機(48人乗り)



奄美大島
人口 : 58,738人
主な産業 : 農業
面積 : 821.13km²
高齢化率 : 33.9%



※人口及び高齢化率はR2国勢調査



与論島
人口 : 5,115人
主な産業 : 観光
面積 : 20.58km²
高齢化率 : 35.0%



奄美空港
設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 2,000m × 45m
供用開始 : S39.6.1
運用時間 : 8:00 ~ 19:30



与論空港
設置管理者 : 鹿児島県
滑走路 : 1,200m × 30m
供用開始 : S51.5.1
運用時間 : 8:30 ~ 17:30 (18:30)

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年12月17日

協議会名: 鹿児島県奄美地域離島航空路線協議会

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(離島航空路運航費補助)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日本エアコミューター(株)	喜界-奄美線 人及び物資を運搬するため、 喜界～奄美間を1日3往復運航。	引き続き路線の維持確保に必要な取組を実施している。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ①運航便数は1日3往復(ATR42-600(48人乗)), 令和3年4月から同年10月までの就航率は91.0%であった。 ②収支率の目標が76%(H29～R1年度平均)に対して, 新型コロナウイルスの影響もあり, 令和3年4月から同年9月までは41%であった。	島の過疎, 高齢化等に加えて, 新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で, 当該航空路線を引き続き維持するために, きめ細やかな事業運営や業務の効率化, コスト削減等に努める。
	徳之島-奄美線 人及び物資を運搬するため、 徳之島～奄美間を1日2往復運航。	引き続き路線の維持確保に必要な取組を実施している。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ①運航便数は1日2往復(ATR42-600(48人乗)), 令和3年4月から同年10月までの就航率は93.0%であった。 ②収支率の目標が84%(H29～R1年度平均)に対して, 新型コロナウイルスの影響もあり, 令和3年4月から同年9月までは46%であった。	島の過疎, 高齢化等に加えて, 新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で, 当該航空路線を引き続き維持するために, きめ細やかな事業運営や業務の効率化, コスト削減等に努める。
	沖永良部-徳之島線 人及び物資を運搬するため、 沖永良部～徳之島を1日1往復運航。	引き続き路線の維持確保に必要な取組を実施している。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ①運航便数は1日1往復(ATR42-600(48人乗)), 令和3年4月から同年10月までの就航率は96.0%であった。 ②収支率の目標が65%(H30～R1年度平均)に対して, 新型コロナウイルスの影響もあり, 令和3年4月から同年9月までは34%であった。	島の過疎, 高齢化等に加えて, 新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で, 当該航空路線を引き続き維持するために, きめ細やかな事業運営や業務の効率化, コスト削減等に努める。
	与論-奄美線 人及び物資を運搬するため、 与論～奄美を1日1往復運航。	引き続き路線の維持確保に必要な取組を実施している。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ①運航便数は1日1往復(ATR42-600(48人乗)), 令和3年4月から同年10月までの就航率は94.2%であった。 ②収支率の目標が53%(H29～R1年度平均)に対して, 新型コロナウイルスの影響もあり, 令和3年4月から同年9月までは28%であった。	島の過疎, 高齢化等に加えて, 新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している中で, 当該航空路線を引き続き維持するために, きめ細やかな事業運営や業務の効率化, コスト削減等に努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年12月17日

協議会名：	鹿児島県奄美地域離島航空路線協議会
評価対象事業名：	地域公共交通確保維持改善事業(離島航空路運航費補助)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>奄美群島は、奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町の12市町村から成っており、人口は10万4,281人(令和2年国勢調査)で、鹿児島県人口の6.6%を占めている。奄美群島は、本土から航路距離で377km～592km離れた外海離島で南北約220kmの海域に広く点在しているため、物価や人及びモノの移動に係る経費、リサイクルに係る搬出経費、高等教育に要する費用等の本土との格差の大きな要因となっている。</p> <p>奄美群島内の航空ネットワークは、①本土の鹿児島空港と奄美群島各島を発着する路線と、②奄美群島から県外への路線、③奄美大島にある奄美空港を中心とした離島間路線があり、それぞれ人及び物資を運搬する生活路線、並びに観光客の利用する交通手段として重要な役割を果たしている。</p> <p>① 鹿児島ー奄美(10)、喜界(2)、徳之島(4)、沖永良部(3)、与論(1) ② 奄美ー羽田(1)、成田(1)、伊丹(1)、関西(1)、福岡(1)、那覇(1)、沖永良部ー沖縄(1)、与論ー那覇(1) ③ 奄美ー喜界(3)、徳之島(2)、与論(1)、沖永良部ー徳之島(1) ()内は往復便数、令和3年冬ダイヤ現在</p> <p>上記のうち、特に③離島間路線については、運航距離が短い路線であることや、島の人口減少及び少子高齢化に伴い需要が少ない路線であることから、一部路線が運航費補助対象路線となっているなど、採算面で課題を抱えている。</p> <p>外海離島である奄美群島にとって、離島航空路の確保維持が主たる目的であり、人口減少及び少子高齢化に伴う利用者の減少が予想される中、交通弱者対策を含め島民や島外住民の利用促進を図り、島民の生活路線を継続的に確保していく必要がある。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年2月 日
国土交通省航空局

評価対象事業名:令和2年度 離島航空路に係る地域公共交通確保維持改善事業

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島県奄美地 域離島航空路線 協議会	日本エアコミュニ ター(株)	喜界-奄美線 人及び物資を運搬 するため、喜界～ 鹿児島間を1日3往 復運航。	引き続き路線の維持確保に 必要な取組を実施している。	A	B	島の過疎、高齢化等に加え て、新型コロナウイルスの影響 により利用者が減少している 中で、当該航空路線を引き 続き維持するために、きめ細 やかな事業運営や業務の効 率化、コスト削減等に努め る。	新型コロナウイルス感染症拡 大の影響もあり目標達成には 至らなかったものの、離島住 民のための生活路線維持が 図られ事業は適切に実施さ れている。 今後の改善点に記載された 内容を実施され、引き続き、 路線の維持確保に努められ たい。	
		徳之島-奄美線 人及び物資を運搬 するため、徳之島 ～奄美間を1日2往 復運航。	引き続き路線の維持確保に 必要な取組を実施している。	A	B	島の過疎、高齢化等に加え て、新型コロナウイルスの影響 により利用者が減少している 中で、当該航空路線を引き 続き維持するために、きめ細 やかな事業運営や業務の効 率化、コスト削減等に努め る。	新型コロナウイルス感染症拡 大の影響もあり目標達成には 至らなかったものの、離島住 民のための生活路線維持が 図られ事業は適切に実施さ れている。 今後の改善点に記載された 内容を実施され、引き続き、 路線の維持確保に努められ たい。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年2月 日
国土交通省航空局

評価対象事業名:平成31年度 離島航空路に係る地域公共交通確保維持改善事業

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島県奄美地 域離島航空路線 協議会	日本エアコミュニ ター(株)	沖永良部ー徳之島 線 人及び物資を運搬 するため、沖永良 部～徳之島を1日1 往復運航。	引き続き路線の維持確保に 必要な取組を実施している。	A	B	島の過疎、高齢化等に加え て、新型コロナウイルスの影 響により利用者が減少してい る中で、当該航空路線を引き 続き維持するために、きめ細 やかな事業運営や業務の効 率化、コスト削減等に努め る。	新型コロナウイルス感染症拡 大の影響もあり目標達成には 至らなかったものの、離島住 民のための生活路線維持が 図られ事業は適切に実施さ れている。 今後の改善点に記載された 内容を実施され、引き続き、 路線の維持確保に努められ たい。	
		与論ー奄美線 人及び物資を運搬 するため、与論～ 奄美を1日1往復運 航。	引き続き路線の維持確保に 必要な取組を実施している。	A	B	島の過疎、高齢化等に加え て、新型コロナウイルスの影 響により利用者が減少してい る中で、当該航空路線を引き 続き維持するために、きめ細 やかな事業運営や業務の効 率化、コスト削減等に努め る。	新型コロナウイルス感染症拡 大の影響もあり目標達成には 至らなかったものの、離島住 民のための生活路線維持が 図られ事業は適切に実施さ れている。 今後の改善点に記載された 内容を実施され、引き続き、 路線の維持確保に努められ たい。	

事業内容

- 事業エリア
宮崎県
- MaaS事業に取り組む背景
 - ・全国平均に比べ高い高齢化率（→地域の足確保の重要性）
2015年：29.4%（全国：26.6%）、2035年：37.1%（全国：32.8%）
※宮崎県HPより抜粋
 - ・公共交通分担率の低さ
自家用車：72.2%（福岡：48.9%）、鉄道：1.0%（福岡：10.2%）
バス：1.6%（福岡：6.3%） ※H22 国勢調査より抜粋
 - ・人口減少・輸送事業の労働力の不足
- 地域交通サービス事業者を取り巻く厳しい経営環境
⇒事業者の枠を超えた連携による地域交通サービスの利便性向上・持続可能性向上に向けた取り組みが必要**
- 事業内容
 - ・事業者が連携した**ハード（＝輸送サービス）の整備**とMaaSを活用したデジタルによる**ソフト面の整備**を融合
 - ・デジタルチケットの**QRコードの活用**によるお客様の**利便性向上と利用データ取得・利活用の推進**

基礎データ

- 対象区域の概要
 - ・地域名: 宮崎県: 人口: 107.3万人 面積: 7,735km²
- 対象区域のビジョン
 - 「宮崎県交通・物流ネットワーク戦略(2020年12月改訂)」
 - 【目標】
人口減少や技術革新等に適切に対応する持続的な交通・物流ネットワークの形成
 - 【主な取組施策】
 - ・公共交通の利便性向上の為の環境整備
 - ・交通事業者・地域と一体となった利用促進
 - ・MaaS等の新モビリティサービスの導入促進
- 本事業は**同戦略に基づく交通事業者主体の取り組み**として実施

事業実施前の状況 (Before)

- 現状・問題点
 - (a) 交通モード毎に輸送サービスや情報がバラバラに提供(ソフト面の課題)
 - (b) 各交通モードの連携・結節が考慮されず**「地域交通ネットワーク」としての視点が欠如**(ハード面の課題)
 - (c) 現行のMaaSアプリのデジタルチケットは係員の目視確認のため、お客様の利便性が低く、移動データの取得・活用の面からも課題
- 事業の目的
 - 宮崎県が抱える交通課題解決に向け以下の項目で事業の有効性を評価
 - (a) MaaSアプリの活用によるシームレスな移動の実現・利便性の向上
 - (b) 実輸送サービスの連携とMaaSを融合させた取り組みの有効性確認
 - (c) 利用データの取得方法と利活用方法の検証

事業実施後の状況 (After)

<鉄道とバスの結節性向上>



<QR読み取り機の導入>



<デジタルチケット販売>



- 効果検証
 - アプリの取得データやアンケート・ヒアリング調査で以下の項目を検証
 - (a) アプリの利用者満足度、ルート検索回数、デジタルチケット販売枚数
 - (b) 鉄道・バスの乗り継ぎ利便性向上施策の利用者満足度
 - (c) QR読み取り機の利用者満足度
- ※コロナ禍の影響で、自治体の要請などもあり、**積極的な利用促進策・PR等の実施が難しい状況**
- 交通業界・自治体等の高い関心と水平展開
 - ・国交省本省・内閣府・自治体市議団等の視察受け入れ
 - ・JR6社MaaS担当者の視察 他県での講演依頼等
 - ・業界誌・経済誌（JRガゼット、財界九州他）の取材・記事掲載
 - ・my routeを導入している他県でのQRコード活用検討
- ⇒**ハード面とソフト面を融合させた取り組みとQRを活用した取り組みは、MaaS活用の先進事例として全国的に注目**
九州内各県への水平展開・「九州MaaS」実現に向けた動き

地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価

令和3年1月14日

補助事業者名:宮崎県におけるMaaS実行委員会

評価対象事業名:日本版MaaS推進・支援事業

①事業の結果概要	
(事業の実施内容、結果の概要等を記載)	
JR九州列車と宮崎交通バスの結節性向上のためのフィジカル面の整備に合わせてMaaS連携基盤システムを改修し、ソフト面とハード面の両面からシームレスな移動の実現を目指して取り組んだ。 また、対象エリアのJR九州の8駅に、MaaSアプリで販売するデジタルチケット上に表示するQRコードを読み取る端末を設置し、デジタルチケット有効性判定の自動化によるキャッシュレス決済の推進、移動関連データの収集を実施した。 いずれの事業も、今後はアンケート調査を実施し、利用者の声に基づいた評価を実施する。	
②事業実施の適切性	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の計画に沿って、事業が適切に実施されたかどうかを定性的に記載)
A	交付申請時の計画通り、事業を適切に実施している。
③目標・効果の達成状況	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の目標値の達成状況等を定量的に記載)
A	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリの利用満足度 70%以上::今後アンケート調査により評価 ・アプリによるルート検索回数 延べ5,000回:集計中 ・デジタルチケットの販売枚数 1,000枚:集計中 ・宮崎地区におけるデジタルチケット利用者の利用実績データの把握(50%以上):集計中 ※当初の定量的な評価に加え、アンケート調査による定性的な評価を実施予定。
④今後の改善点	
(目標値の達成状況等を踏まえ今後の改善点や、取組内容等を記載)	
今後は、アンケート調査等で得られた利用者の声に基づき、MaaS連携基盤システムやQR読み取り機の必要な改修を実施し、ユーザーインターフェースの向上に努めていくとともに、展開エリアの拡大を検討していく。	

※事業実施の適切性における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、概ね適切に実施された
 B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった点もあったが、それに対する課題の整理が図られた。
 C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

※目標・効果達成状況における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を概ね達成した(する見込み)
 B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
 C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)